

第2部 教育課程

人間文化学部

履修要項

人間文化学部の教育目標

われわれの文化は、人間個々人の心理や生理、社会生活の影響を大きく受けており、他方で、われわれの思考や行動、社会組織や生活様式の背後には歴史的、文化的な要素が色濃く存在する。文化事象をより深く知ろうとすれば、それを生み出す人間について理解を深めねばならず、また人間の思考・心理や社会生活をより深く知ろうとすれば、その文化的側面の理解も深めていかねばならない。

人間文化学部は、人間が創り出した文化が人間を育み、一方で規定してゆくという関連性に立脚し、人と人、文化と社会、地域の関係性の総合的な教育研究、新時代を担う新しい人材の育成を目的とする。

人間文化学部は、心理学科、メディア社会学科、歴史民俗・日本語日本文化学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科の4学科で構成される。4つの学科は、心理と臨床心理、メディアと現代社会、日本の歴史民俗と言葉・文化、国際文化と英語をそれぞれの教育研究対象としている。4つの学科に設けられている様々な分野を学際的に教育研究することによって、現代社会における人間と文化のあり方について総合的・学際的な学習が可能となる。

人間文化学部が育成しようとする人材は次の通りである。

- ① 心理学の基礎的知識と技能を十分に体得し、それを企業や心理臨床などの実践現場において柔軟に応用、問題解決できる能力をもった人材
- ② 現代社会において、ますます重要性を増すメディアに対して高度な理解を持ち、かつ、社会のしくみ・動きに対する深い洞察力を有する人材
- ③ われわれの過去と現在を歴史と民俗の観点から考え研究し、その成果を地域などに発信できるような人材
- ④ 日本語と日本文化研究を柱として、日本人の言語・文学・文化・芸術を深く理解し、日本語を模範的に使いこなし、広い視野をもって社会に貢献できる人材
- ⑤ 日本の文化について深く理解し、国際的視野に立って考え行動できる人材

人間文化学部の入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

1. 高校までの基礎学力を有している人
2. コミュニケーション能力や勉学の意欲がある人
3. 人間の行動や社会、歴史・文化に興味を持っている人

【心理学科】

1. 人間の心や行動に興味を持っている人
2. 対人援助に興味を持っている人

【メディア社会学科】

1. 社会や人間の行動に興味を持っている人
2. メディアに対する興味を持っている人

【歴史民俗・日本語日本文化学科】

- 歴史民俗学専攻
歴史や民俗に興味を持っている人
- 日本語日本文化専攻
日本語や日本文化に興味を持っている人

【国際ヒューマン・コミュニケーション学科】

1. 国際的な視点でものを考えられる人
2. 安全や環境、美と国際教養に興味を持っている人
3. 英語コミュニケーションに興味を持っている人

人間文化学部の教育課程編成、実施の方針（カリキュラムポリシー）

1. 各学科・専攻において、幅広い教養と専門領域についての深い理解が得られるようカリキュラムを編成する
2. 講義のみでなく演習や実習を重視し、フィールドワークを多く採り入れる
3. 他学科の授業科目も履修できるよう配慮する

【心理学科】

1. 心理学の研究領域を幅広く学ばせるために、多彩な科目を配置する
2. 心理学の基礎的知識とともに、実験、調査、検査、その他の心理学技法を修得できるよう、カリキュラムを構成する

【メディア社会学科】

1. メディアを適切に利用する力、メディアを使って表現する力を育成する
2. 現代社会を理解する力を身につけるようカリキュラムを構成する

【歴史民俗・日本語日本文化学科】

- 歴史民俗学専攻
過去と現在を歴史と民俗の視点から学べるようカリキュラムを構成する
- 日本語日本文化専攻
日本語および日本文化を柱として、言語によって表された世界（日本語・文学）と言語を超えた世界（伝統文化・伝統芸能）に関して造詣を深めることができるよう、カリキュラムを構成する

【国際ヒューマン・コミュニケーション学科】

1. 日本文化や京都の歴史を英語で発信でき、世界のさまざまな文化や価値観を理解できるカリキュラムを構成する
2. 他者への思いやりを持ち、適切な道徳観やマナーを身につけ、世界的視野で考え、行動できる人を育成するためのカリキュラムを構成する

人間文化学部の学位授与方針（ディプロマポリシー）

各学科が定める方針と照らし、学位授与が可と認められるレベルにまで到達していること。
本学部の教育が社会生活にも役立つほどに身につけ、それが卒業研究の内容や演習等のなかでの言動に表れていること。

【心理学科】

心理学の専門的基礎知識と研究法を修得していること。
さらにそれらの学習をとおして、心理学の実践応用、効果的コミュニケーション技術、批判的思考能力を修得していること。

【メディア社会学科】

さまざまなメディアを活用する能力を身につけていること。
そのうえで、現代社会に対して理解する力を十分修得していると判断されること。

【歴史民俗・日本語日本文化学科】

- 歴史民俗学専攻
フィールドワークと資料講読の方法の修得、歴史資料もしくはフィールドワークにもとづいた一定レベル以上の卒業研究を提出していること。
- 日本語日本文化専攻
日本人の言語・文化・芸術を十分理解したうえでの、模範的な日本語による一定レベル以上の卒業研究の提出をしていること。

【国際ヒューマン・コミュニケーション学科】

卒業研究については、各自の専門分野に関する理解を深め、これにもとづいてすぐれた論文や創作物を提出していること。

教育課程の特色

人間文化学部の教育目標に基づいて編成された教育課程の特色は、次のとおりです。

1. 専門的知識の習得
各学科・専攻の教育研究目標にしたがって、専門領域に対する深い知識と理解を身につけるためのカリキュラム構成となっています。
2. 総合的、学際的知識の習得
自らの専門知識を得る一方、それとは違った角度から別領域の考え方を学ぶことで、総合的な理解力を養います。そのために、他学科の科目を履修できるように配慮しています。
3. 柔軟な履修体系
各自の研究テーマに応じて科目履修をはかれるよう、ゼミ担当者を中心に履修指導します。そのために可能な限り選択科目を多くし、専門科目も、早い年次から学べるようにしています。
4. 少人数教育、双方向教育、演習の重視、学外研修や実習の実施
対話型授業を重視し、各年次に演習を配置しています。さらに、各学科の専門領域に応じた実験や調査、実習等を多数取り入れています。
また、フィールドワークや、博物館、資料館などへの研修等、各演習では必要に応じて学外での実習や研修を実施します。
5. コミュニケーション能力、情報処理能力の育成
世界語としての英語や英語圏の社会、文化などについて学習し、将来、海外での語学研修や留学への道が開けるように、また国際的な視野に立って活躍できるように、実践的かつ総合的な英語力養成講座を設けています。
また、コミュニケーションツールとして、今日なくてはならないものとなっているコンピュータについてもパソコン入門等の科目において、インターネットなどの通信を含め、データベース、統計処理、画像処理に関するコンピュータの基本操作が学習できます。
さらに、心理学基礎実験や社会調査法、映像製作実習、情報検索実習等において、それぞれの領域で必要なコンピュータの使用法を学ぶことができます。
6. 研究成果の積極的発信
インターネットを積極的に活用し、演習における研究成果の発信を行います。演習受講者が研究成果を文字、写真、音声、映像等自由な表現手段によって記録し、世界に発信することを目指します。

各科目の概略

設置科目の種類

- ① A群（学部共通科目）
人文・社会・自然の3分野の幅広い教養と、専門科目に必要な言語能力、情報処理能力を培う科目で、大部分は他の学部と共通です。また、本学独自の学際的プログラムである「京都学」研究プログラムの多くの科目も、ここに含まれています。
- ② B群（人間文化科目）
人間文化学部の学生全員が、学科の別なく履修する科目で、A群科目とC群・D群科目の橋渡しの役割を果たすとともに、人間と文化に関する学際的思考の基礎となる科目が置かれています。
- ③ C群（学科基礎科目）
学科それぞれの領域の基礎的、総論的な科目です。それぞれの学科に所属する学生が、共通して学ぶべき科目が置かれています。心理学科の「心理学への招待」、メディア社会学科の「現代社会とメディア」、歴史民俗・日本語日本文化学科 日本語日本文化専攻の「日本の文化」、国際ヒューマン・コミュニケーション学科の「はじめての国際文化」は、各学科・専攻の全領域を鳥瞰する科目で、C群・D群科目を担当する学部専任教員によるオムニバス形式の講義が展開されます。
- ④ D群（学科専門科目）
それぞれの学科あるいは専攻に分かれ、自らの専門を深化させていく科目です。各専攻の中で、より専門性の高い科目がここに置かれています。
また、年次ごとに演習を配置し、少人数による教育を重視するほか、履修指導の場としても機能させています。
- ⑤ 他学部・他学科科目
より広い範囲にわたる学習・研究を希望する場合は、人間文化学部の他学科の科目のみならず、他学部他学科の科目についても学ぶことができます。ただし、他学部他学科の全ての科目を受講できるのではなく、指定された科目及び単位数の範囲内で受講できます。
- ⑥ 免許・資格課程の科目
教職課程、博物館学芸員課程、図書館司書課程、社会教育主事養成課程、日本語教員養成課程が設けられています。詳細については、各資格課程の説明を参照してください。

成績不振基準(人間文化学部)

成績不振基準を下回った場合、別途指導を受けることがあります。

回生	セメスター	総取得単位数	前セメスターの取得単位数	備考
1	1	(別途出席不良基準あり)		
	2	15 以下		
2	3	30 以下	15 以下	いずれかが下回った場合、成績不振となります。
	4	45 以下	15 以下	
3	5	60 以下	15 以下	
	6	75 以下	15 以下	
4以上	7	90 以下		
	8以上	105 以下		

心理学科 履修上の注意

2013P・2014P

I. 卒業必要単位数

A 群 (学部共通科目)	B 群 (人間文化科目)	C 群 (学科基礎科目)	D 群 (学科専門科目)	任 意	卒業必要 単位数
外国語科目 4 単位、 キャリアデザインⅠ (2 単位) を含む 22 単位以上	28 単位 以上	24 単位 以上	スタートアップゼミ A (2 単位) を含む 36 単位以上	14 単位 以上	124 単位 以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群 (学部共通科目) から、外国語科目 4 単位、キャリアデザインⅠ (2 単位) を含む、合計 22 単位以上を取得していること。
(外国語科目のうち、日本語基礎 A・B、日本語応用 A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。)
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、キャリア支援科目は 8 単位まで卒業必要単位として認定されます。(8 単位を超えて履修することはできませんが、卒業必要単位としては認定されません。)
- ◇ B 群 (人間文化科目) から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群 (学科基礎科目) から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群 (学科専門科目) から、スタートアップゼミ A (2 単位) を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 14 単位以上取得していること。
※ メディア社会学科、歴史民俗・日本語日本文化学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 12 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
(この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、メディア社会学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、心理学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。)

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です (必修科目および登録必要科目を含む)。
これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

次の回生に該当する学生は、次の科目を指定されたクラスで受講しなければなりません。

学年	学期	科目名	指定内容・備考
2 回生	春・秋	心理学基礎実験 A・B	* 春に A を履修した学生は秋に B を、春に B を履修した学生は秋に A を履修します。
3 回生	春	各専門演習Ⅰ A	* 前年度秋学期に選択したゼミに自動的に履修登録されます。
	秋	各専門演習Ⅰ B	
		各上級実験・実習	
4 回生	春	各専門演習Ⅱ A	* 専門演習Ⅰ A・Ⅰ B と同一担当者の専門演習Ⅱ A・Ⅱ B に自動登録されます。
	秋	各専門演習Ⅱ B	
		卒業研究	

IV. 演習等

心理学科で開講される以下の演習・実験・実習は、本学科の学生は全員が、各回生で指定されたもののいずれかを履修しなければなりません。不合格の場合は次年度に再履修することはできません。ただし、スタートアップゼミ A は、原則、単位修得まで自動登録されます。

- 1 回生：スタートアップゼミ A【必修】、スタートアップゼミ B、心理学初級実験
- 2 回生：心理学基礎実験 A・B
- 3 回生：心理学専門演習Ⅰ A・Ⅰ B または臨床心理学専門演習Ⅰ A・Ⅰ B、各上級実験及び実習
- 4 回生：心理学専門演習Ⅱ A・Ⅱ B または臨床心理学専門演習Ⅱ A・Ⅱ B、卒業研究

これらの演習・心理学実験は「登録必要科目」です。1 回生対象の、スタートアップゼミ A・B、心理学初級実験、2 回生対象の心理学基礎実験 A・B は自動登録されます。それ以外の演習・心理学実験については事前に履修登録を行なう必要があります。スタートアップゼミ A・B 以外の演習では、1 クラスの人数制限があるので、配属にあたって選考される場合があります。

- ◇ スタートアップゼミ A (1 回生対象)【必修科目】、スタートアップゼミ B (1 回生対象)
 - * 所属クラスは、入学時に指定されます。
 - * スタートアップゼミ A・B では、テーマが設定され、文献の読み方、情報検索の方法、レポートの書き方、ゼミ発表や討論の方法等、大学で必要な知的技術の基礎の修得が目標とされます。

スタートアップゼミ B は、1 回生の秋学期に開講され、春学期と同一担当者のゼミに自動登録されます。

- ◇ 心理学初級実験(1 回生対象)
 - * 心理学の実験実習を行なう入門的な授業です。
 - * 1 回生の秋学期に開講される科目です。
 - ◇ 心理学基礎実験 A・B(2 回生対象)
 - * 2 回生で履修する科目で 2 講時連続の授業を行い、春学期 A→秋学期 B または春学期 B→秋学期 A のクラスを開講します。
 - * 心理学基礎実験 A・心理学基礎実験 B が不合格の場合、次年度に再履修することはできません。
 - ◇ 心理学専門演習 I A・I B・臨床心理学専門演習 I A・I B(3 回生対象)
 - * 前年度に開催する演習登録によって決定した心理学専門演習 I A・I B・臨床心理学専門演習 I A・I B のクラスに自動登録されます。
 - * 心理学専門演習 I A・I B、臨床心理学専門演習 I A・I B では、各自の興味や進路に応じて研究テーマを決定し、資料収集や調査・実習・実験等の訓練を行ない、研究論文の書き方の基礎を養います。成果として、作品の制作やゼミ・レポートを、演習ごとに冊子としてまとめます。
 - ◇ 認知心理学上級実験・社会心理学上級実験・思考心理学上級実験・医療心理実習・表現療法実習・心理面接実習・発達臨床実習・心理療法実習(3 回生対象)
 - * 心理学専門演習 I A・I B、臨床心理学専門演習 I A・I B の補完として開講される実験です。卒業研究の準備のため、各専門演習 I A・I B と並行して、3 回生で所属ゼミ担当者の上記科目(半期・1 単位)を必ず履修しなければなりません。
 - ◇ 心理学専門演習 II A・II B・臨床心理学専門演習 II A・II B(4 回生対象)
 - * 心理学専門演習 I A・I B・臨床心理学専門演習 I A・I B と同一担当者による心理学専門演習 II A・II B・臨床心理学専門演習 II A・II B に自動登録されます。
 - * 心理学専門演習 II A・II B・臨床心理学専門演習 II A・II B における所属の変更は認めません。
 - * 心理学専門演習 II A・II B・臨床心理学専門演習 II A・II B では、卒業研究(4 単位)も必ず履修することとし、卒業研究の指導が中心に行なわれます。
 - ◇ 卒業研究(4 回生対象)

卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などすることも可能です。
- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます(ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます)ので、この制度をおおいに活用してください。

V. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. 事前登録科目

事前登録科目については、受講人数制限(定員)があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けてください。

I. 卒業必要単位数

A 群 (学部共通科目)	B 群 (人間文化科目)	C 群 (学科基礎科目)	D 群 (学科専門科目)	任 意	卒業必要 単位数
外国語科目 4 単位、 私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB (各 2 単位)を含む 22 単位以上	28 単位 以上	24 単位 以上	スタートアップゼミ A・B (各 2 単位)を含む 36 単位以上	14 単位 以上	124 単位 以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から、外国語科目 4 単位、私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB（各 2 単位）を含む、22 単位以上を取得していること。
（外国語科目のうち、日本語基礎 A・B、日本語応用 A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、キャリア支援科目は 8 単位まで卒業必要単位として認定されます。（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から、スタートアップゼミ A・B（各 2 単位）を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 14 単位以上取得していること。
※ メディア社会学科、歴史民俗・日本語日本文化学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 12 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、メディア社会学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、心理学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

次の回生に該当する学生は、次の科目を指定されたクラスで受講しなければなりません。

回生	科目名	指定内容・備考
4 回生	各専門演習ⅡA・ⅡB 卒業研究	＊ 専門演習ⅠA・ⅠB 単位修得者のみが履修できます。 ＊ 専門演習ⅠA・ⅠB と同一担当者の専門演習ⅡA・ⅡB に自動登録されます。

IV. 演習等

心理学科で開講される以下の演習・実験・実習は、本学科の学生は全員が、各回生で指定された演習のいずれかを履修しなければなりません。不合格の場合は次年度に再履修することはできません。ただし、スタートアップゼミ A・B は、原則、単位修得まで自動登録されます。

3 回生：心理学専門演習ⅠA・ⅠB または臨床心理学専門演習ⅠA・ⅠB、各上級実験及び実習

4 回生：心理学専門演習ⅡA・ⅡB または臨床心理学専門演習ⅡA・ⅡB、卒業研究

これらの演習・心理学実験は「登録必要科目」です。演習・心理学実験については事前に履修登録を行なう必要があります。演習には、1 クラスの人数制限があるので、配属にあたって選考される場合があります。

- ◇ 心理学基礎実験 A・B (2 回生対象)
 - ＊ 2 回生で履修する科目で 2 講時連続の授業を行い、春学期 A→秋学期 B または春学期 B→秋学期 A のクラスを開講します。
 - ＊ 心理学基礎実験 A・心理学基礎実験 B が不合格の場合、次年度に再履修することはできません。
- ◇ 心理学専門演習ⅠA・ⅠB・臨床心理学専門演習ⅠA・ⅠB (3 回生対象)
 - ＊ 前年度に開催する演習登録説明会によって決定した心理学専門演習ⅠA・ⅠB・臨床心理学専門演習ⅠA・ⅠB のクラスに自動登録されます。
 - ＊ 心理学専門演習ⅠA・ⅠB、臨床心理学専門演習ⅠA・ⅠB では、各自の興味や進路に応じて研究テーマを決定し、資料収集や調査・実習・実験等の訓練を行ない、研究論文の書き方の基礎を養います。成果として、作品の制作やゼミ・レポートを、演習ごとに冊子としてまとめます。
- ◇ 認知心理学上級実験・社会心理学上級実験・思考心理学上級実験・医療心理実習・表現療法実習・心理面接実習・発達臨床実習・心理療法実習 (3 回生対象)
 - ＊ 心理学専門演習ⅠA・ⅠB、臨床心理学専門演習ⅠA・ⅠB の補完として開講される実験です。卒業研究の準備のため、各専門演習ⅠA・ⅠB と並行して、3 回生で所属ゼミ担当者の上記科目（半期・1 単位）を必ず履修しなければなりません。
- ◇ 心理学専門演習ⅡA・ⅡB・臨床心理学専門演習ⅡA・ⅡB (4 回生対象)

- * 心理学専門演習ⅠＡ・ⅠＢ・臨床心理学専門演習ⅠＡ・ⅠＢと同一担当者による心理学専門演習ⅡＡ・ⅡＢ・臨床心理学専門演習ⅡＡ・ⅡＢに自動登録されます。
 - * 心理学専門演習ⅡＡ・ⅡＢ・臨床心理学専門演習ⅡＡ・ⅡＢにおける所属の変更は認めません。
 - * 心理学専門演習ⅡＡ・ⅡＢ・臨床心理学専門演習ⅡＡ・ⅡＢでは、卒業研究（４単位）も必ず履修することとし、卒業研究の指導が中心に行なわれます。
- ◇ 卒業研究（４回生対象）
卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

※オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学ナビ』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

V. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間３科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. 事前登録科目

事前登録科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けてください。

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目の内、日本語基礎 A・B、日本事情、日本語応用 A・B、日本語作文演習は、留学生科目）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、卒業必要単位として認定されます。
（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ メディア社会学科、歴史民俗・日本語日本文化学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、メディア社会学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、心理学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学ナビ』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

III. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

IV. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

V. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目の内、日本語基礎 A・B、日本事情、日本語応用 A・B、日本語作文演習は、留学生科目）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、卒業必要単位として認定されます。
（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ メディア社会学科、歴史民俗・日本語日本文化学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、メディア社会学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、心理学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「28 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。
これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学ナビ』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

III. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

IV. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

V. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

心理学科 科目一覧表

※ ○付き数字は各科目の単位数

※ 「情報・パソコン」は、同じ科目でも開講学期やクラスによって受講できるセメスターが違いますので注意してください。

セメスター	1～	2～	3～	5～	7～
A群（学部共通科目）	教養科目 社会学入門 A② 社会学入門 B② 論理学入門④ 人権の歴史と現代 A② 人権の歴史と現代 B② 経営学入門 A② 経営学入門 B② 日本語表現法② 科学の歴史 A② 科学の歴史 B② 宇宙と地球の科学 A② 宇宙と地球の科学 B② 生命の科学 A② 生命の科学 B② 物質の科学 A② 物質の科学 B② 自然環境 A② 自然環境 B② 英語文化事情 A② 英語文化事情 B② 医療倫理学② 環境倫理学② 自然保護思想② 日本の農業② 食の安全安心② 京野菜栽培加工実習②		国際関係論 A② 国際関係論 B② 土壌の科学② 昆虫の科学② 微生物の世界② 白書で学ぶ現代日本②		
	京都学研究プログラム科目 京都学Ⅰ② 京都学Ⅱ② きもの学② きもの学（発展）② フィールドワーク京都（歴史と文化）A② フィールドワーク京都（歴史と文化）B② フィールドワーク京都（まちなかコミュニティ研究）② フィールドワーク京都（現代企業研究）② 京都の文学② 京都の歴史② 日本の文学 A② 日本の文学 B② 京都の観光産業Ⅰ② 京都の観光産業Ⅱ② 京都検定講座Ⅰ② 京都検定講座Ⅱ②		日本経営史Ⅰ② 日本経営史Ⅱ② 京都商人論Ⅰ② 京都商人論Ⅱ② 企業家史② 梅岩「心学」研究② ベンチャー・ビジネス論② 京都のベンチャー企業論②		
	情報・パソコン パソコン入門① パソコン応用 A① パソコン応用 B①	パソコン応用 C① プログラミング BⅠ④ プログラミング C④ コンピュータ・ネットワーク入門②	プログラミング BⅡ④ マルチメディア表現 s② マルチメディア表現 f②		
	生涯スポーツ スポーツ社会学概論② 運動学概論② 健康スポーツ理論 A② 健康スポーツ理論 B② スポーツ国際交流論 A② スポーツ国際交流論 B② やさしい健康科学②【新設】 運動生理学②【新設】 生涯スポーツ実技①	生涯スポーツは合計8単位まで要卒単位として認められます			

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
A 群 (学部共通科目)	キャリア支援科目	2013年度以降入学生用	キャリアデザインⅠ② 【必修】	キャリアデザインⅡ②	キャリアベーシックトレーニング② ビジネス実務論② 現代基礎教養② コミュニケーション・スキル②	
		2012年度入学生用	私の人生設計ⅠA②	私の人生設計ⅠB②	私の人生設計ⅡA② 私の人生設計ⅡB②	
	キャリア支援科目は2011年度以降の入学生は合計8単位まで、 2010年度以前の入学生は合計6単位まで要卒単位として認められます。					
	外国語科目			2011・2012年度入学の学生のみ必修	キャリアベーシックトレーニング② キャリアデザイン② ビジネス実務論② 現代基礎教養② コミュニケーション・スキル②	
					英語講読Ⅰ② 英語講読Ⅱ② ドイツ語s② ドイツ語f② フランス語s② フランス語f② スペイン語s② スペイン語f② 中国語s② 中国語f② ハングルs② ハングルf②	ドイツ語講読s② ドイツ語講読f② フランス語講読s② フランス語講読f②
			総合英語A② 総合英語B② 基礎英語A② 基礎英語B② 英語リーディング② 英語ライティング② 英語スピーキング② 英語リスニング② 英語資格試験ワーク② 英語資格試験パブリックワーク② 入門ドイツ語総合s② 入門ドイツ語総合f② 入門ドイツ語会話s② 入門ドイツ語会話f② 入門フランス語s② 入門フランス語f② 入門スペイン語s② 入門スペイン語f② 入門中国語s② 入門中国語f② 入門ハングルs② 入門ハングルf②	英語リーディングⅡ② 英語ライティングⅡ② 英語スピーキングⅡ② 英語資格試験ワークⅡ② 海外研修④ 海外事情A② 海外事情B② 海外事情C② 海外事情D④ 海外留学④		
		2013年度入学生	英語リーディング② 英語ライティング② 英語コミュニケーション② TOEIC 研究② 英語ライティング②	英語中級リーディング② 英語中級ライティング② 英語中級スピーキング② TOEFL 研究② 英語リーディング② 英語スピーチ&ディベート②		
	留学生科目		(留)日本語基礎A② (留)日本語基礎B② (留)日本事情② (留)日本語応用A② (留)日本語応用B② (留)日本語作文演習②			

(留)…留学生科目

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
B群 (人間文化科目)	I類	人文地理学④ 経済学概論④ 西洋史概説④ 哲学概論 A② 哲学概論 B② 日本史概説 A② 日本史概説 B② 東洋史概説 A② 東洋史概説 B② 生物学概論 A② 生物学概論 B② 文化人類学 A② 文化人類学 B② 自然地理学 A② 自然地理学 B② 地誌 A② 地誌 B② 言語表現論 A② 言語表現論 B② 法学概論 A (日本国憲法を含む) ② 法学概論 B② 社会学概論④		倫理学概論④ 心理学概論④ 政治学原論 A② 政治学原論 B②		
	II類	心理学入門Ⅰ② 心理学入門Ⅱ② メディア学入門Ⅰ② メディア学入門Ⅱ② 古文入門② 漢文入門② 統計分析の基礎④ 日本語学概論 A② 日本語学概論 B② 中国文学概論 A② 中国文学概論 B② かな文字基礎講読 A② かな文字基礎講読 B② ジェンダー論Ⅰ② ジェンダー論Ⅱ② 宗教学Ⅰ② 宗教学Ⅱ② マスコミ論 A② マスコミ論 B② 比較社会論 A② 比較社会論 B② 現代経済の読み方② 出版文化論② デジタル出版論② ファッション文化論② マンガ文化論② デジタル映像編集実習Ⅰ① デジタル映像編集実習Ⅱ① インターンシップ A② インターンシップ B② エコロジー入門② 現代アートへの招待② アートギャラリー実習Ⅰ① アートギャラリー実習Ⅱ① 雑誌編集実習① 英語特別講義 A② 英語特別講義 B② 異文化コミュニケーション② メディア・リテラシー②		言語学Ⅰ② 言語学Ⅱ② 音声学Ⅰ② 音声学Ⅱ② 生涯学習概論Ⅰ② 生涯学習概論Ⅱ② 教育学 A② 教育学 B② 話しことば表現講座② 社会調査法④ 質的社会調査法② デジタル出版編集実習① 日本文学概論 A② 日本文学概論 B②	社会調査実習Ⅰ① 社会調査実習Ⅱ① キャリア研究 s② キャリア研究 f②	

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
心理学科	C群 (学科基礎科目)	心理学への招待② 現代社会とメディア②		社会心理学Ⅰ② 社会心理学Ⅱ② 臨床心理学Ⅰ② 臨床心理学Ⅱ② 心理統計学Ⅰ② 心理統計学Ⅱ② 教育心理学Ⅰ② 教育心理学Ⅱ② 発達心理学Ⅰ② 発達心理学Ⅱ② 認知心理学② 人格心理学② コミュニケーション社会学A② コミュニケーション社会学B② 現代社会論② 社会問題論②		
	D群 (学科専門科目)			社会病理学④ 社会福祉論Ⅰ② 社会福祉論Ⅱ② 宗教社会学A② 宗教社会学B② 子どもの社会学② 家族社会学②	脳と心② 思考心理学② 心理測定法② シミュレーションゲーム② 心理学研究法② 学習の動機づけ② カウンセリング論② 学校臨床心理学② 心理アセスメント② 発達臨床心理学② 心理療法② 深層心理学② 医療心理学② 司法・矯正・福祉心理学②	
	演習等	スタートアップゼミA② 【2011年度以降 の入学生は必修】	スタートアップゼミB② 【2011・2012 年度入学の学生の み必修】 心理学初級実験①	心理学基礎実験A② 心理学基礎実験B②	認知心理学上級実験① 社会心理学上級実験① 思考心理学上級実験① 医療心理実習① 表現療法実習① 心理面接実習① 発達臨床実習① 心理療法実習① 心理学専門演習ⅠA② 心理学専門演習ⅠB② 臨床心理学専門演習ⅠA② 臨床心理学専門演習ⅠB②	心理学専門演習ⅡA② 心理学専門演習ⅡB② 臨床心理学専門演習ⅡA② 臨床心理学専門演習ⅡB② 卒業研究④
	英語プロジェクト科目	2014年度生以降	英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語文化研究A②		
		2012年度生以降	英語ゼミⅠ② 英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語ゼミⅡ② 英語ゼミⅢ② 英語文化研究A②	英語ゼミⅣ② 英語ゼミⅤ②	英語ゼミⅥ② 英語プロジェクト修了研究②

			2011年度生以前		英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語ゼミⅠ② 英語ゼミⅡ② 英語文化研究A②	英語ゼミⅢ② 英語ゼミⅣ②	英語ゼミⅤ② 英語プロジェクト修了研究②
--	--	--	-----------	--	----------------------	------------------------------	------------------	-------------------------

メディア社会学科 履修上の注意

2013W・2014W

I. 卒業必要単位数

A 群 (学部共通科目)	B 群 (人間文化科目)	C 群 (学科基礎科目)	D 群 (学科専門科目)	任 意	卒業必要 単位数
外国語科目 4 単位、 キャリアデザインⅠ (2 単位) を含む 22 単位以上	28 単位 以上	24 単位 以上	スタートアップゼミ A (2 単位) および 卒業研究 (4 単位) を含む 36 単位以上	14 単位 以上	124 単位 以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群 (学部共通科目) から、外国語科目 4 単位、キャリア支援科目からキャリアデザインⅠ (2 単位) を含む、合計 22 単位以上を取得していること。
(外国語科目のうち、日本語基礎 A・B、日本語応用 A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。)
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、キャリア支援科目は 8 単位まで卒業必要単位として認定されます。(8 単位を超えて履修することはできませんが、卒業必要単位としては認定されません。)
- ◇ B 群 (人間文化科目) から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群 (学科基礎科目) から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群 (学科専門科目) から、スタートアップゼミ A (2 単位)、卒業研究 (4 単位) を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 14 単位以上取得していること。
※ 心理学科、歴史民俗・日本語日文化学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 12 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
(この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、メディア社会学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。)

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です (必修科目および登録必要科目を含む)。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

次の回生に該当する学生は、次の科目を指定されたクラスで受講しなければなりません。

学年	学期	科目名	指定内容・備考
2 回生	春	社会調査法 社会調査演習 s or メディア基礎演習 s	* 春に s を履修し不合格となった学生は秋に f を履修できません。
	秋	社会調査演習 f or メディア基礎演習 f	
3 回生	春	各専門演習ⅠA	* 前年度秋学期に選択したゼミに自動的に履修登録されます。
	秋	各専門演習ⅠB	
4 回生	春	各専門演習ⅡA	* 専門演習ⅠA・ⅠB と同一担当者の専門演習ⅡA・ⅡB に自動登録されます。
	秋	各専門演習ⅡB	
		卒業研究【必修】	

IV. 演習等

メディア社会学科で開講される以下の演習は、本学科の学生は全員が、各回生で指定した演習のいずれかを履修しなければなりません。不合格の場合は次年度に再履修することはできません。ただし、スタートアップゼミ A は、原則、単位修得まで自動登録されます。

1 回生：スタートアップゼミ A【必修】、スタートアップゼミ B

2 回生：社会調査演習 s・f またはメディア基礎演習 s・f

3 回生：各専門演習ⅠA・ⅠB

4 回生：各専門演習ⅡA・ⅡB・卒業研究【必修】

- ◇ スタートアップゼミ A (1 回生対象)【必修科目】、スタートアップゼミ B (1 回生対象)

* 所属クラスは、入学時に指定されます。

* スタートアップゼミ A・B では、テーマが設定され、文献の読み方、情報検索の方法、レポートの書き方、ゼミ発表や討論の方法等、大学で必要な知的技術の基礎の修得が目標とされます。

スタートアップゼミBは、1回生の秋学期に開講されます。

◇ **メディア基礎演習 s・f、社会学調査演習 s・f(2 回生対象)**

- * メディア基礎演習 s・f、社会学調査演習 s・f は 2 回生で自動登録されます。
- * 前年度の秋学期に開催される演習登録説明会によって決定したメディア基礎演習 s・f、社会学調査演習 s・f のクラスに自動登録されます。
- * メディア基礎演習 s・f、社会学調査演習 s・f では、各指導教員の専攻分野及び周辺分野のテーマを基に、関連する資料等を素材として、学問としての文献の読み方、討論の進め方の基礎を養い、資料収集や調査・実習・実験の訓練を行います。
- * 原則として、ゼミ・レポートや作品を演習毎に冊子としてまとめます。

◇ **各専門演習ⅠA・ⅠB(3 回生対象)**

- * 前年度に開催する演習登録説明会によって決定した各専門演習ⅠA・ⅠBのクラスに自動登録されます。
- * 各専門演習ⅠA・ⅠBでは、各自の興味や進路に応じて研究テーマを決定し、資料収集や調査・実習・実験等の訓練を行ない、研究論文の書き方の基礎を養います。
- * 成果として、作品の制作やゼミ・レポートを演習毎に冊子としてまとめます。

◇ **各専門演習ⅡA・ⅡB(4 回生対象)**

- * 各専門演習ⅠA・ⅠBと同一担当者による各専門演習ⅡA・ⅡBに自動登録されます。
- * 各専門演習ⅡA・ⅡBにおける所属の変更は認めません。
- * 各専門演習ⅡA・ⅡBでは、卒業研究(4 単位)も必ず履修することとし、卒業研究の指導が中心に行なわれます。

◇ **卒業研究(4 回生対象)【必修科目】**

- * 卒業研究は必ず提出しなければならず、単位を取得しなければ卒業することができません。
- * 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます(ポータルシステム『京学ナビ』の「教員時間割表」でも確認できます)ので、この制度をおおいに活用してください。

V. **留学生科目について**

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. **大学コンソーシアム京都単位互換科目**

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. **事前登録科目**

事前登録科目については、受講人数制限(定員)があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けてください。

I. 卒業必要単位数

A 群 (学部共通科目)	B 群 (人間文化科目)	C 群 (学科基礎科目)	D 群 (学科専門科目)	任 意	卒業必要 単位数
外国語科目 4 単位、 私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB (各 2 単位) を含む 22 単位以上	28 単位 以上	24 単位 以上	スタートアップゼミ A・B (各 2 単位) および卒業 研究を含む 36 単位以上	14 単位 以上	124 単位 以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群(学部共通科目) から、外国語科目 4 単位、私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB(各 2 単位) を含む、22 単位以上を取得していること。
(外国語科目のうち、日本語基礎 A・B、日本語応用 A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。)
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、キャリア支援科目については 8 単位までが卒業必要単位として認定されます。
(8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。)
- ◇ B 群(人間文化科目) から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群(学科基礎科目) から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群(学科専門科目) からスタートアップゼミ A・B(各 2 単位)、卒業研究(4 単位) を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 14 単位以上取得していること。
※ 心理学科、歴史民俗・日本語日本文化学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 12 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
(この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、メディア社会学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。)

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です(必修科目および登録必要科目を含む)。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

次の回生に該当する学生は、次の科目を指定されたクラスで受講しなければなりません。

回生	科目名	指定内容・備考
4 回生	{ 社会学専門演習ⅡA・ⅡB or { メディア専門演習ⅡA・ⅡB 卒業研究【必修】	* 専門演習ⅠA・ⅠB と同一担当者の専門演習ⅡA・ⅡB に自動登録されます。 * 卒業研究は必修科目となります。

IV. 演習等

メディア社会学科で開講される以下の演習は、本学科の学生は全員が、各回生で指定した演習のいずれかを履修しなければなりません。不合格の場合は次年度に再履修することはできません。ただし、スタートアップゼミ A・B は、原則、単位修得まで自動登録されます。

3 回生：各専門演習ⅠA・ⅠB

4 回生：各専門演習ⅡA・ⅡB・卒業研究【必修】

これらの演習は「登録必要科目」です。

- ◇ **メディア基礎演習 s・f、社会学調査演習 s・f(2 回生対象)**
 - * メディア基礎演習 s・f、社会学調査演習 s・f は 2 回生で自動登録されます。
 - * 前年度の秋学期に開催される演習登録説明会によって決定したメディア基礎演習 s・f、社会学調査演習 s・f のクラスに自動登録されます。
 - * メディア基礎演習 s・f、社会学調査演習 s・f では、各指導教員の専攻分野及び周辺分野のテーマを基に、関連する資料等を素材として、学問としての文献の読み方、討論の進め方の基礎を養い、資料収集や調査・実習・実験の訓練を行います。
 - * 原則として、ゼミ・レポートや作品を演習毎に冊子としてまとめます。
- ◇ **各専門演習ⅠA・ⅠB(3 回生対象)**
 - * 前年度に開催する演習登録説明会によって決定した各専門演習ⅠA・ⅠB のクラスに自動登録されます。
 - * 各専門演習ⅠA・ⅠB では、各自の興味や進路に応じて研究テーマを決定し、資料収集や調査・実習・実験等の訓練を行ない、研究論文の書き方の基礎を養います。
 - * 成果として、作品の制作やゼミ・レポートを演習毎に冊子としてまとめます。
- ◇ **各専門演習ⅡA・ⅡB(4 回生対象)**
 - * 各専門演習ⅠA・ⅠB と同一担当者による各専門演習ⅡA・ⅡB に自動登録されます。
 - * 各専門演習ⅡA・ⅡB における所属の変更は認めません。

※ 各専門演習ⅡA・ⅡBでは、卒業研究（4単位）も必ず履修することとし、卒業研究の指導が中心に行なわれます。

◇ **卒業研究(4回生対象)【必修科目】**

※ 卒業研究は必ず提出しなければならず、単位を取得しなければ卒業することができません。

※ 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

V. **留学生科目について**

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. **大学コンソーシアム京都単位互換科目**

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. **事前登録科目**

事前登録科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けてください。

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	卒業研究を含む 36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目の内、日本語基礎 A・B、日本事情、日本語応用 A・B、日本語作文演習は、留学生科目）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から卒業研究 4 単位を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ 心理学科、歴史民俗・日本語日文化学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、メディア社会学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。
これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

卒業研究の単位が未修得の場合、自動的に登録されます。

- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

IV. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

V. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VI. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	卒業研究を含む 36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目の内、日本語基礎 A・B、日本事情、日本語応用 A・B、日本語作文演習は、留学生科目）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位までが卒業必要単位として認定されます。（8 単位を超えて履修することはできませんが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできませんが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から卒業研究 4 単位を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ 心理学科、歴史民俗・日本語日文化学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、メディア社会学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「28 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。
これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

卒業研究の単位が未修得の場合、自動的に登録されます。

IV. 演習等

◇ 卒業研究【必修科目】

- * 卒業研究は必ず提出しなければならず、単位を取得しなければ卒業することができません。
- * 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学ナビ』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

V. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

メディア社会学科 科目一覧表

※ ○付き数字は各科目の単位数

※ 「情報・パソコン」は、同じ科目でも開講学期やクラスによって受講できるセメスターが違いますので注意してください。

セメスター	1～	2～	3～	5～	7～
A 群 (学部共通科目)	教養科目 社会学入門 A② 社会学入門 B② 論理学入門④ 人権の歴史と現代 A② 人権の歴史と現代 B② 経営学入門 A② 経営学入門 B② 日本語表現法② 科学の歴史 A② 科学の歴史 B② 宇宙と地球の科学 A② 宇宙と地球の科学 B② 生命の科学 A② 生命の科学 B② 物質の科学 A② 物質の科学 B② 自然環境 A② 自然環境 B② 英語文化事情 A② 英語文化事情 B② 医療倫理学② 環境倫理学② 自然保護思想② 日本の農業② 食の安全安心② 京野菜栽培加工実習②		国際関係論 A② 国際関係論 B② 土壌の科学② 昆虫の科学② 微生物の世界② 白書で学ぶ現代日本②		
	京都市学研究プログラム科目 京都学Ⅰ② 京都学Ⅱ② さもの学② さもの学(発展)② フィールドワーク京都(歴史と文化)A② フィールドワーク京都(歴史と文化)B② フィールドワーク京都(まちなかコミュニティ研究)② フィールドワーク京都(現代企業研究)② 京都の文学② 京都の歴史② 日本の文学 A② 日本の文学 B② 京都の観光産業Ⅰ② 京都の観光産業Ⅱ② 京都検定講座Ⅰ② 京都検定講座Ⅱ②		日本経営史Ⅰ② 日本経営史Ⅱ② 京都商人論Ⅰ② 京都商人論Ⅱ② 企業家史② 梅岩「心学」研究② ベンチャー・ビジネス論② 京都のベンチャー企業論②		
	情報・パソコン パソコン入門① パソコン応用 A① パソコン応用 B①	パソコン応用 C① プログラミング BI④ プログラミング C④ コンピュータ・ネットワーク入門②	プログラミング BⅡ④ マルチメディア表現 s② マルチメディア表現 f②		
	生涯スポーツ スポーツ社会学概論② 運動学概論② 健康スポーツ理論 A② 健康スポーツ理論 B② スポーツ国際交流論 A② スポーツ国際交流論 B② やさしい健康科学②【新設】 運動生理学②【新設】 生涯スポーツ実技①			生涯スポーツは合計8単位まで要卒単位として認められます	

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
A群 (学部共通科目)	キャリア支援科目	2013年度以降入学生用	キャリアデザインⅠ② 【必修】	キャリアデザインⅡ②	ビジネス実務論② 現代基礎教養② コミュニケーション・スキル② キャリアバシットトレーニング②	
		キャリア支援科目は 2011 年度以降の入学生は合計 8 単位まで、 2010 年度以前の入学生は合計 6 単位まで要卒単位として認められます。				
	2012年度入学生用	私の人生設計ⅠA②	私の人生設計ⅠB②	私の人生設計ⅡA② 私の人生設計ⅡB②		
		2011・2012 年度入学の学生のみ必修			キャリアバシットトレーニング② キャリアデザイン② ビジネス実務論② 現代基礎教養② コミュニケーション・スキル②	
	外国語科目	総合英語A② 総合英語B② 基礎英語A② 基礎英語B② 英語リーディング② 英語ライティング② 英語スピーキング② 英語リスニング② 英語資格試験ワーク② 英語資格試験パート② 入門ドイツ語総合 s② 入門ドイツ語総合 f② 入門ドイツ語会話 s② 入門ドイツ語会話 f② 入門フランス語 s② 入門フランス語 f② 入門スペイン語 s② 入門スペイン語 f② 入門中国語 s② 入門中国語 f② 入門ハングル s② 入門ハングル f②	英語リーディングⅡ② 英語ライティングⅡ② 英語スピーキングⅡ② 英語資格試験ワークⅡ② 海外研修④ 海外事情 A② 海外事情 B② 海外事情 C② 海外事情 D④ 海外留学④	英語講読Ⅰ② 英語講読Ⅱ② ドイツ語 s② ドイツ語 f② フランス語 s② フランス語 f② スペイン語 s② スペイン語 f② 中国語 s② 中国語 f② ハングル s② ハングル f②	ドイツ語講読 s② ドイツ語講読 f② フランス語講読 s② フランス語講読 f②	
	2013年度入学生	英語アドバンスリーディング② 英語プラクティカルライティング② 英語パーソナルコミュニケーション② TOEIC 研究② 英語クリエイティブライティング②	英語中級リーディング② 英語中級ライティング② 英語中級スピーキング② TOEFL 研究② 英語インテンシブリーディング② 英語スピーチ&ディベート②			
	留学生科目	(留)日本語基礎 A② (留)日本語基礎 B② (留)日本事情② (留)日本語応用 A② (留)日本語応用 B② (留)日本語作文演習②				

(留)…留学生科目

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
B群（人間文化科目）	I類	人文地理学④ 経済学概論④ 西洋史概説④ 哲学概論 A② 哲学概論 B② 日本史概説 A② 日本史概説 B② 東洋史概説 A② 東洋史概説 B② 生物学概論 A② 生物学概論 B② 文化人類学 A② 文化人類学 B② 自然地理学 A② 自然地理学 B② 地誌 A② 地誌 B② 言語表現論 A② 言語表現論 B② 法学概論 A（日本国憲法を含む）② 法学概論 B② 社会学概論④		倫理学概論④ 心理学概論④ 政治学原論 A② 政治学原論 B②		
	II類	心理学入門Ⅰ② 心理学入門Ⅱ② メディア学入門Ⅰ② メディア学入門Ⅱ② 古文入門② 漢文入門② 統計分析の基礎④ 日本語学概論 A② 日本語学概論 B② 中国文学概論 A② 中国文学概論 B② かな文字基礎講読 A② かな文字基礎講読 B② ジェンダー論Ⅰ② ジェンダー論Ⅱ② 宗教学Ⅰ② 宗教学Ⅱ② マスコミ論 A② マスコミ論 B② 比較社会論 A② 比較社会論 B② 現代経済の読み方② 出版文化論② デジタル出版論② ファッション文化論② マンガ文化論② デジタル映像編集実習Ⅰ① デジタル映像編集実習Ⅱ① インターンシップ A② インターンシップ B② エコロジー入門② 現代アートへの招待② アートギャラリー実習Ⅰ① アートギャラリー実習Ⅱ① 雑誌編集実習① 英語特別講義 A② 英語特別講義 B② 異文化コミュニケーション② メディア・リテラシー②		言語学Ⅰ② 言語学Ⅱ② 音声学Ⅰ② 音声学Ⅱ② 生涯学習概論Ⅰ② 生涯学習概論Ⅱ② 教育学 A② 教育学 B② 話しことば表現講座② 社会調査法④ 質的社会調査法② デジタル出版編集実習① 日本文学概論 A② 日本文学概論 B②	社会調査実習Ⅰ① 社会調査実習Ⅱ① キャリア研究 s② キャリア研究 f②	

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
メディア社会学科	C 群 (学科基礎科目)	心理学への招待② 現代社会とメディア② 映像文化論④ マルチメディア論④ 広告広報論Ⅰ② 広告広報論Ⅱ② ジャーナリズム論 A② ジャーナリズム論 B② メディア表現実習②		文化社会学 A② 文化社会学 B② コミュニケーション社会学 A② コミュニケーション社会学 B② 政治社会学② 社会問題論② 理論社会学② 現代社会論② 表現文化論② 社会心理学Ⅰ② 社会心理学Ⅱ② 心理統計学Ⅰ② 心理統計学Ⅱ② 教育心理学Ⅰ② 教育心理学Ⅱ②		
	D 群 (学科専門科目)	現代雑誌論 A② 現代雑誌論 B② 現代映画論 A② 現代映画論 B② テレビ放送論② ポップ・ミュージック論② 情報サービス実習Ⅰ① マスコミ文章講座①		社会意識論④ 社会福祉論Ⅰ② 社会福祉論Ⅱ② 社会病理学④ 宗教社会学 A② 宗教社会学 B② 環境社会学 A② 環境社会学 B② 教育社会学 A② 教育社会学 B② 家族社会学② 子どもの社会学② 情報ネットワーク論② プロダクトデザイン論② CM 表現論② 映画撮影論② 映画撮影所実習② アニメ文化論② アニメ制作実習① テレビ局番組制作実習② スタジオ放送実習① 映像制作実習① 情報サービス実習Ⅱ①	心理測定法②	
	演習等	スタートアップゼミ A② 【2011 年度以降 の入学学生は必修】	スタートアップゼミ B② 【2011・2012 年度 入学の学生のみ必修】	社会学調査演習 s② 社会学調査演習 f② メディア基礎演習 s② メディア基礎演習 f②	社会学専門演習ⅠA② 社会学専門演習ⅠB② メディア専門演習ⅠA② メディア専門演習ⅠB②	社会学専門演習ⅡA② 社会学専門演習ⅡB② メディア専門演習ⅡA② メディア専門演習ⅡB② 卒業研究④【必修】
	英語プロジェクト科目	2014 年度生以降	英語文化研究 B② 英語文化研究 C②	英語文化研究 A②		
		2012 年度以降	英語ゼミⅠ② 英語文化研究 B② 英語文化研究 C②	英語ゼミⅡ② 英語ゼミⅢ② 英語文化研究 A②	英語ゼミⅣ② 英語ゼミⅤ②	英語ゼミⅥ② 英語プロジェクト修了研究②

			2011年度生以前		英語文化研究 B② 英語文化研究 C②	英語ゼミ I ② 英語ゼミ II ② 英語文化研究 A②	英語ゼミ III ② 英語ゼミ IV ②	英語ゼミ V ② 英語プロジェクト修了研究②
--	--	--	-----------	--	------------------------	------------------------------------	-------------------------	---------------------------

歴史民俗・日本語日本文化学科 歴史民俗学専攻 履修上の注意

2013Y001～・2014Y001～

I. 卒業必要単位数

A 群 (学部共通科目)	B 群 (人間文化科目)	C 群 (学科基礎科目)	D 群 (学科専門科目)	任 意	卒業必要 単位数
外国語科目 4 単位、 キャリアデザイン I (2 単位) を含む 22 単位以上	28 単位 以上	24 単位 以上	スタートアップゼミ A (2 単位) および 卒業研究を含む 36 単位以上	14 単位 以上	124 単位 以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群 (学部共通科目) から、外国語科目 4 単位、キャリア支援科目からキャリアデザイン I (2 単位) を含む、合計 22 単位以上を取得していること。
(外国語科目のうち、日本語基礎 A・B、日本語応用 A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。)
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、キャリア支援科目は 8 単位まで卒業必要単位として認定されます。(8 単位を超えて履修することはできませんが、卒業必要単位としては認定されません。)
- ◇ B 群 (人間文化科目) から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群 (学科基礎科目) から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群 (学科専門科目) から、スタートアップゼミ A (2 単位)、卒業研究 (4 単位) を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 14 単位以上取得していること。
※ 心理学科、メディア社会学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科、他専攻科目、他学部開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科・他専攻受講の場合の単位認定は、任意区分に 12 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
(この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、歴史民俗・日本語日本文化学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。)

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です (必修科目および登録必要科目を含む)。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

次の回生に該当する学生は、次の科目を指定されたクラスで受講しなければなりません。

学年	学期	科目名	指定内容・備考
2 回生	春	歴史民俗学資料講読 (各分野) A 情報サービス実習 II	* 2 つの分野の資料講読を選択します。
	秋	歴史民俗学資料講読 (各分野) B	
3 回生	春	歴史民俗学専門演習 I A	* 前年度秋学期に選択したゼミに自動的に履修登録されます。
	秋	歴史民俗学専門演習 I B	
4 回生	春	歴史民俗学専門演習 II A	* 専門演習 I A・I B と同一担当者の専門演習 II A・II B に自動登録されます。
	秋	歴史民俗学専門演習 II B	
		卒業研究【必修】	

IV. 演習等

歴史民俗・日本語日本文化学科 歴史民俗学専攻で開講される以下の演習は、本専攻の学生は全員が、各回生で指定された演習・講読・講義・実習のいずれかを履修しなければなりません。不合格の場合は次年度に再履修することはできません。ただし、スタートアップゼミ A は、原則、単位修得まで自動登録されます。

- 1 回生：スタートアップゼミ A【必修】、スタートアップゼミ B、情報サービス実習 I
- 2 回生：歴史民俗学資料講読 (各) A・B (各 A と同一種類の各 B が自動登録となります。)、情報サービス実習 II
- 3 回生：歴史民俗学専門演習 I A・I B
- 4 回生：歴史民俗学専門演習 II A・II B・卒業研究【必修】

これらの演習・講読は「登録必要科目」です。1 回生対象のスタートアップゼミ A・B は自動登録されます。スタートアップゼミ A・B 以外の演習では、1 クラスの人数制限があるので、配属にあたって選考される場合があります。

- ◇ スタートアップゼミ A (1 回生対象)【必修科目】、スタートアップゼミ B (1 回生対象)
 - * 所属クラスは、入学時に指定されます。
 - * スタートアップゼミ A・B では、テーマが設定され、文献の読み方、情報検索の方法、レポートの書き方、ゼミ発表や

討論の方法等、大学で必要な知的技術の基礎の修得が目標とされます。

スタートアップゼミ B は、1 回生の秋学期に開講され、春学期と同一担当者のゼミに自動登録されます。

◇ 歴史民俗学資料講読（各）A・B（2 回生対象）

- * 前年度の秋学期に開催される演習登録説明会によって決定した歴史民俗学資料講読（各）A のクラスに自動登録されます。
- * 定員等によって、第一希望の講読に所属できない場合があります。
- * 歴史民俗学資料講読（各）A・B では、A 群（学部共通科目）、B 群（人間文化科目）の履修を基礎として、各指導教員の専攻分野及び周辺分野のテーマを基に、関連する資料等を素材として、学問としての文献の読み方、討論の進め方の基礎を養い、資料収集や調査・実習・実験の訓練を行ないます。歴史民俗学資料講読（各）A・B は、複数科目履修できます。

◇ 歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB（3 回生対象）

- * 前年度に開催する演習登録説明会によって決定した歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB のクラスに自動登録されます。
- * 歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB では、各指導教員の専攻分野及び周辺分野のテーマを基に、関連する資料等を素材として、学問としての文献の読み方、討論の進め方の基礎を養い、資料収集や調査・実習・実験の訓練を行ないます。

◇ 歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡB（4 回生対象）

- * 歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB と同一担当者による歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡB に自動登録されます。
- * 歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡB における所属の変更は認めません。
- * 歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡB では、卒業研究（4 単位）も必ず履修することとし、卒業研究の指導が中心に行なわれます。

◇ 卒業研究（4 回生対象）【必修科目】

- * 卒業研究は必ず提出しなければならず、単位を取得しなければ卒業することができません。
- * 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

◇ 歴史学特殊講義Ⅰ・Ⅱ、歴史民俗学特殊講義ⅠA・ⅠB、歴史民俗学特殊講義ⅡA・ⅡB（3 回生以上対象）

歴史学特殊講義Ⅰ・Ⅱについては、必ず 2 種類（8 単位）以上の特殊講義を履修することとします。歴史民俗学特殊講義ⅠA・ⅠB、歴史民俗学特殊講義ⅡA・ⅡB については、必ず 4 単位以上の特殊講義を履修することとします。

◇ 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

◇ 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

◇ 事前登録科目

事前登録科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けてください。

◇ 実習について

- * 実習・フィールドワーク科目については、実習費、材料費、交通費、入場料、拝観料が必要な場合があります。詳しくは各科目のシラバスを参照してください。
- * 伝統文化実習 A（茶道）の登録に際して、実習費（5,000 円）が必要となります。春学期開講は 4 月末までに、秋学期開講は 10 月末までに納入しなければなりません。

I. 卒業必要単位数

A 群 (学部共通科目)	B 群 (人間文化科目)	C 群 (学科基礎科目)	D 群 (学科専門科目)	任 意	卒業必要 単位数
外国語科目 4 単位、 私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB (各 2 単位) を含む 22 単位以上	28 単位 以上	24 単位 以上	スタートアップゼミ A・B (各 2 単位) および卒業 研究を含む 36 単位以上	14 単位 以上	124 単位 以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群 (学部共通科目) から、外国語科目 4 単位、私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB (各 2 単位) を含む、22 単位以上を取得していること。
(外国語科目のうち、日本語基礎 A・B、日本語応用 A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。)
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、キャリア支援科目については 8 単位まで卒業必要単位として認定されます。
(8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。)
- ◇ B 群 (人間文化科目) から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群 (学科基礎科目) から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群 (学科専門科目) から、スタートアップゼミ A・B (各 2 単位)、卒業研究 (4 単位) を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 14 単位以上取得していること。
※ 心理学科、メディア社会学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科、他専攻科目、他学部開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科・他専攻受講の場合の単位認定は、任意区分に 12 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
(この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、歴史民俗・日本語日本文化学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。)

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です (必修科目および登録必要科目を含む)。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

次の回生に該当する学生は、次の科目を指定されたクラスで受講しなければなりません。

回生	科目名	指定内容・備考
4 回生	歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡB 卒業研究【必修】	* 歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB と同一担当者の歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡB に自動登録されます。 * 卒業研究は必修科目となります。

IV. 演習等

歴史民俗・日本語日本文化学科 歴史民俗学専攻で開講される以下の演習は、本専攻の学生は全員が、各回生で指定された演習・講読・講義・実習のいずれかを履修しなければなりません。不合格の場合は次年度に再履修することはできません。ただし、スタートアップゼミ A・B は、原則、単位修得まで自動登録されます。

3 回生：歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB

4 回生：歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡB・卒業研究【必修】

これらの演習・講読は「登録必要科目」です。

- ◇ 歴史民俗学資料講読 (各) A・B (2 回生対象)
 - * 前年度の秋学期に開催される演習登録説明会によって決定した歴史民俗学資料講読 (各) A のクラスに自動登録されます。
 - * 定員等によって、第一希望の講読に所属できない場合があります。
 - * 歴史民俗学資料講読 (各) A・B では、A 群 (学部共通科目)、B 群 (人間文化科目) の履修を基礎として、各指導教員の専攻分野及び周辺分野のテーマを基に、関連する資料等を素材として、学問としての文献の読み方、討論の進め方の基礎を養い、資料収集や調査・実習・実験の訓練を行ないます。歴史民俗学資料講読 (各) A・B は、複数科目履修できます。
- ◇ 歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB (3 回生対象)
 - * 前年度に開催する演習登録説明会によって決定した歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB のクラスに自動登録されます。
 - * 歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB では、各指導教員の専攻分野及び周辺分野のテーマを基に、関連する資料等を素材として、学問としての文献の読み方、討論の進め方の基礎を養い、資料収集や調査・実習・実験の訓練を行ないます。
- ◇ 歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡB (4 回生対象)
 - * 歴史民俗学専門演習ⅠA・ⅠB と同一担当者による歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡB に自動登録されます。

- * 歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡBにおける所属の変更は認めません。
- * 歴史民俗学専門演習ⅡA・ⅡBでは、卒業研究（4単位）も必ず履修することとし、卒業研究の指導が中心に行なわれます。

◇ 卒業研究(4回生対象)【必修科目】

- * 卒業研究は必ず提出しなければならず、単位を取得しなければ卒業することができません。
- * 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などすることも可能です。
- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

V. 歴史学特殊講義Ⅰ・Ⅱ、歴史民俗学特殊講義ⅠA・ⅠB、歴史民俗学特殊講義ⅡA・ⅡB(3回生以上対象)

歴史学特殊講義Ⅰ・Ⅱについては、必ず2種類（8単位）以上の特殊講義を履修することとします。歴史民俗学特殊講義ⅠA・ⅠB、歴史民俗学特殊講義ⅡA・ⅡBについては、必ず4単位以上の特殊講義を履修することとします。

VI. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VII. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間3科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VIII. 事前登録科目

事前登録科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けてください。

IX. 実習について

- ◇ 実習・フィールドワーク科目については、実習費、材料費、交通費、入場料、拝観料が必要な場合があります。詳しくは各科目のシラバスを参照してください。
- ◇ 伝統文化実習A（茶道）の登録に際して、実習費（5,000円）が必要となります。春学期開講は4月末までに、秋学期開講は10月末までに納入しなければなりません。

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	卒業研究を含む 36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目の内、日本語基礎 A・B、日本事情、日本語応用 A・B、日本語作文演習は、留学生科目）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から卒業研究 4 単位を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ 心理学科、メディア社会学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他専攻、他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科・他専攻受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、歴史民俗・日本語日本文化学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。歴史民俗・日本語日本文化学科の他専攻の D 群の科目を受講する場合もこれに準じます。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

卒業研究の単位が未修得の場合、自動的に登録されます。

- ◇ 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

IV. 歴史学特殊講義Ⅰ・Ⅱ、歴史民俗学特殊講義ⅠA・ⅠB、歴史民俗学特殊講義ⅡA・ⅡB(3 回生以上対象)

歴史学特殊講義Ⅰ・Ⅱについては、必ず 2 種類（8 単位）以上の特殊講義を履修することとします。

歴史民俗学特殊講義ⅠA・ⅠB、歴史民俗学特殊講義ⅡA・ⅡBについては、必ず 4 単位以上の特殊講義を履修することとします。

V. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

VIII. 実習について

伝統文化実習 A（茶道）の登録に際して、実習費（5,000 円）が必要となります。春学期開講は 4 月末までに、秋学期開講は 10 月末までに納入しなければなりません。

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	卒業研究を含む 36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目の内、日本語基礎 A・B、日本事情、日本語応用 A・B、日本語作文演習は、留学生科目）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から卒業研究 4 単位を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ 心理学科、メディア社会学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他専攻、他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科・他専攻受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、歴史民俗・日本語日本文化学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。歴史民俗・日本語日本文化学科の他専攻の D 群の科目を受講する場合もこれに準じます。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「28 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。
これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

卒業研究の単位が未修得の場合、自動的に登録されます。

- ◇ 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学ナビ』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

IV. 歴史学特殊講義Ⅰ・Ⅱ、歴史民俗学特殊講義ⅠA・ⅠB、歴史民俗学特殊講義ⅡA・ⅡB(3 回生以上対象)

歴史学特殊講義Ⅰ・Ⅱについては、必ず 2 種類（8 単位）以上の特殊講義を履修することとします。

歴史民俗学特殊講義ⅠA・ⅠB、歴史民俗学特殊講義ⅡA・ⅡBについては、必ず 4 単位以上の特殊講義を履修することとします。

V. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

VIII. 実習について

伝統文化実習 A（茶道）の登録に際して、実習費（5,000 円）が必要となります。春学期開講は 4 月末までに、秋学期開講は 10 月末までに納入しなければなりません。

歴史民俗・日本語日本文化学科 歴史民俗学専攻 科目一覧表

※ ○付き数字は各科目の単位数

※ 「情報・パソコン」は、同じ科目でも開講学期やクラスによって受講できるセメスターが違いますので注意してください。

セメスター	1～	2～	3～	5～	7～
A群 (学部共通科目)	教養科目 社会学入門A② 社会学入門B② 論理学入門④ 人権の歴史と現代A② 人権の歴史と現代B② 経営学入門A② 経営学入門B② 日本語表現法② 科学の歴史A② 科学の歴史B② 宇宙と地球の科学A② 宇宙と地球の科学B② 生命の科学A② 生命の科学B② 物質の科学A② 物質の科学B② 自然環境A② 自然環境B② 英語文化事情A② 英語文化事情B② 医療倫理学② 環境倫理学② 自然保護思想② 日本の農業② 食の安全安心② 京野菜栽培加工実習②		国際関係論A② 国際関係論B② 土壌の科学② 昆虫の科学② 微生物の世界② 白書で学ぶ現代日本②		
	京都学研究プログラム科目 京都学Ⅰ② 京都学Ⅱ② さものの学② さものの学(発展)② フィールドワーク京都(歴史と文化)A② フィールドワーク京都(歴史と文化)B② フィールドワーク京都(まちなかコミュニティ研究)② フィールドワーク京都(現代企業研究)② 京都の文学② 京都の歴史② 日本の文学A② 日本の文学B② 京都の観光産業Ⅰ② 京都の観光産業Ⅱ② 京都検定講座Ⅰ② 京都検定講座Ⅱ②		日本経営史Ⅰ② 日本経営史Ⅱ② 京都商人論Ⅰ② 京都商人論Ⅱ② 企業家史② 梅岩「心学」研究② ベンチャー・ビジネス論② 京都のベンチャー企業論②		
	情報・パソコン パソコン入門① パソコン応用A① パソコン応用B①	パソコン応用C① プログラミングBI④ プログラミングC④ コンピュータ・ネットワーク入門②	プログラミングBⅡ④ マルチメディア表現s② マルチメディア表現f②		
	生涯スポーツ スポーツ社会学概論② 運動学概論② 健康スポーツ理論A② 健康スポーツ理論B② スポーツ国際交流論A② スポーツ国際交流論B② やさしい健康科学②【新設】 運動生理学②【新設】 生涯スポーツ実技①	生涯スポーツは合計8単位まで要卒単位として認められます			

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
A群(学部共通科目)	キャリア支援科目	2013年度以降入学生用 キャリアデザインⅠ② 【必修】	キャリアデザインⅡ②	ビジネス実務論② 現代基礎教養② コミュニケーション・スキル② キャリアバースキットトレーニング②		
		キャリア支援科目は2011年度以降の入学生は合計8単位まで、 2010年度以前の入学生は合計6単位まで要卒単位として認められます。				
	外国語科目	私の人生設計ⅠA②	私の人生設計ⅠB②	私の人生設計ⅡA② 私の人生設計ⅡB②		
		2011・2012年度入学の学生のみ必修				
	留学生科目	(留)日本語基礎A② (留)日本語基礎B② (留)日本事情② (留)日本語応用A② (留)日本語応用B② (留)日本語作文演習②				

(留)…留学生科目

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
B 群 (人間文化科目)	I 類	人文地理学④ 経済学概論④ 西洋史概説④ 哲学概論 A② 哲学概論 B② 日本史概説 A② 日本史概説 B② 東洋史概説 A② 東洋史概説 B② 生物学概論 A② 生物学概論 B② 文化人類学 A② 文化人類学 B② 自然地理学 A② 自然地理学 B② 地誌 A② 地誌 B② 言語表現論 A② 言語表現論 B② 法学概論 A (日本国憲法を含む) ② 法学概論 B② 社会学概論④		倫理学概論④ 心理学概論④ 政治学原論 A② 政治学原論 B②		
	II 類	心理学入門Ⅰ② 心理学入門Ⅱ② メディア学入門Ⅰ② メディア学入門Ⅱ② 古文入門② 漢文入門② 統計分析の基礎④ 日本語学概論 A② 日本語学概論 B② 中国文学概論 A② 中国文学概論 B② かな文字基礎講読 A② かな文字基礎講読 B② ジェンダー論Ⅰ② ジェンダー論Ⅱ② 宗教学Ⅰ② 宗教学Ⅱ② マスコミ論 A② マスコミ論 B② 比較社会論 A② 比較社会論 B② 現代経済の読み方② 出版文化論② デジタル出版論② ファッション文化論② マンガ文化論② デジタル映像編集実習Ⅰ① デジタル映像編集実習Ⅱ① インターンシップ A② インターンシップ B② エコロジー入門② 現代アートへの招待② アートギャラリー実習Ⅰ① アートギャラリー実習Ⅱ① 雑誌編集実習① 英語特別講義 A② 英語特別講義 B② 異文化コミュニケーション② メディア・リテラシー②		言語学Ⅰ② 言語学Ⅱ② 音声学Ⅰ② 音声学Ⅱ② 生涯学習概論Ⅰ② 生涯学習概論Ⅱ② 教育学 A② 教育学 B② 話しことば表現講座② 社会調査法④ 質的社会調査法② デジタル出版編集実習① 日本文学概論 A② 日本文学概論 B②	社会調査実習Ⅰ① 社会調査実習Ⅱ① キャリア研究 s② キャリア研究 f②	

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
歴史民俗・日本語日本文化学科	C 群（学科基礎科目）			文化遺産論 A② 文化遺産論 B② 口承文芸論 A② 口承文芸論 B② 地域文化論 A② 地域文化論 B② 日本美術史 A② 日本美術史 B② 日本文化論 I ② 日本文化論 II ② 日本語史 A② 日本語史 B② コミュニケーション社会学 A② コミュニケーション社会学 B② 文化社会学 A② 文化社会学 B②		
	D 群（学科専門科目）			アニメ文化論② アニメ制作実習① 情報サービス実習Ⅱ①		
	共通	両専攻				
		歴史民俗学専攻				
	特殊講義			古文書学④	歴史学特殊講義(日本古代史)Ⅰ② 歴史学特殊講義(日本古代史)Ⅱ② 歴史学特殊講義(日本中世史)Ⅰ② 歴史学特殊講義(日本中世史)Ⅱ② 歴史学特殊講義(日本近世史)Ⅰ② 歴史学特殊講義(日本近世史)Ⅱ② 歴史学特殊講義(日本近現代史)Ⅰ② 歴史学特殊講義(日本近現代史)Ⅱ② 歴史民俗学特殊講義ⅠA② 歴史民俗学特殊講義ⅠB② 歴史民俗学特殊講義ⅡA② 歴史民俗学特殊講義ⅡB②	
	講読			歴史民俗学資料講読(歴史地理)A② 歴史民俗学資料講読(歴史地理)B② 歴史民俗学資料講読(都市文化史)A② 歴史民俗学資料講読(都市文化史)B② 歴史民俗学資料講読(日本史)A② 歴史民俗学資料講読(日本史)B② 歴史民俗学資料講読(口頭伝承)A② 歴史民俗学資料講読(口頭伝承)B②	歴史民俗学上級講読(歴史)Ⅰ② 歴史民俗学上級講読(歴史)Ⅱ② 歴史民俗学上級講読(民俗)Ⅰ② 歴史民俗学上級講読(民俗)Ⅱ②	
	演習等		スタートアップゼミ A② 【2011 年度以降の入学生は必修】 情報サービス実習Ⅰ①	スタートアップゼミ B② 【2011・2012 年度入学の学生のみ必修】	歴史民俗学専門演習ⅠA② 歴史民俗学専門演習ⅠB②	歴史民俗学専門演習ⅡA② 歴史民俗学専門演習ⅡB② 卒業研究④【必修】

セメスター				1～	2～	3～	5～	7～
歴史民俗・日本語日本文化学科	D群(学科専門科目)	歴史民俗学専攻	英語プロジェクト科目	2014年度生以降	英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語文化研究A②		
				2012年度生以降	英語ゼミⅠ② 英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語ゼミⅡ② 英語ゼミⅢ② 英語文化研究A②	英語ゼミⅣ② 英語ゼミⅤ②	英語ゼミⅥ② 英語プロジェクト修了研究②
				2011年度生以前	英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語ゼミⅠ② 英語ゼミⅡ② 英語文化研究A②	英語ゼミⅢ② 英語ゼミⅣ②	英語ゼミⅤ② 英語プロジェクト修了研究②

歴史民俗・日本語日本文化学科 日本語日本文化専攻 履修上の注意

2013Y301～・2014Y301～

I. 卒業必要単位数

A 群 (学部共通科目)	B 群 (人間文化科目)	C 群 (学科基礎科目)	D 群 (学科専門科目)	任 意	卒業必要 単位数
外国語科目 4 単位、 キャリアデザイン I (2 単位) を含む 22 単位以上	28 単位 以上	24 単位 以上	スタートアップゼミ A (2 単位) および 卒業研究を含む 36 単位以上	14 単位 以上	124 単位 以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群(学部共通科目)から、外国語科目 4 単位、キャリア支援科目からキャリアデザイン I (2 単位)を含む、合計 22 単位以上を取得していること。
(外国語科目のうち、日本語基礎 A・B、日本語応用 A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。)
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、キャリア支援科目は 8 単位まで卒業必要単位として認定されます。(8 単位を超えて履修することはできませんが、卒業必要単位としては認定されません。)
- ◇ B 群(人間文化科目)から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群(学科基礎科目)から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群(学科専門科目)から、スタートアップゼミ A (2 単位)、卒業研究(4 単位)を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 14 単位以上取得していること。

※ 心理学科、メディア社会学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科、他専攻科目、他学部開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科・他専攻受講の場合の単位認定は、任意区分に 12 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。

(この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、歴史民俗・日本語日本文化学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。)

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です(必修科目および登録必要科目を含む)。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

次の回生に該当する学生は、次の科目を指定されたクラスで受講しなければなりません。

学年	学期	科目名	指定内容・備考
2 回生	春	日本語学講読 A	
		日本文学講読 C	
		日本文学概論 A	
	秋	日本文学講読 B	
		伝統文化講読 B	
		日本文学概論 B	
3 回生	春	日本語学専門演習 I A	
		日本文学専門演習 I A	
	秋	日本文学専門演習 I B	
		伝統文化専門演習 I B	
4 回生	春	各専門演習 II A	* 前年度秋学期に選択したゼミに自動的に履修登録されます。
	秋	各専門演習 II B	
		卒業研究【必修】	

IV. 演習等

歴史民俗・日本語日本文化学科 日本語日本文化専攻で開講される以下の演習・講読は、本専攻の学生は全員が、各回生で指定された演習・講読のいずれかを履修しなければなりません。不合格の場合は次年度に再履修することはできません。ただし、スタートアップゼミ A は、原則、単位修得まで自動登録されます。

1 回生：スタートアップゼミ A【必修】、スタートアップゼミ B

2 回生：各講読 A・B または C・D

3 回生：各専門演習 I A・I B

4 回生：各専門演習 II A・II B・卒業研究【必修】

これらの演習・講読は「登録必要科目」です。1 回生対象のスタートアップゼミ A・B は自動登録されます。スタートアップゼミ A・B 以外の演習では、1 クラスの人数制限があるので、配属にあたって選考される場合があります。

◇ スタートアップゼミ A(1 回生対象)【必修科目】、スタートアップゼミ B(1 回生対象)

* 所属クラスは、入学時に指定されます。

* スタートアップゼミ A・B では、テーマが設定され、文献の読み方、情報検索の方法、レポートの書き方、ゼミ発表や

討論の方法等、大学で必要な知的技術の基礎の修得が目標とされます。

スタートアップゼミBは、1回生の秋学期に開講され、春学期と同一担当者のゼミに自動登録されます。

◇ 各講読A・BまたはC・D(2回生対象)

- * 前年度の秋学期に開催される演習登録説明会によって決定した各講読AおよびCのクラスに自動登録されます。各講読BおよびDは、当該年度の春学期に決定します。
- * 各講読では、各指導教員の専攻分野及び周辺分野のテーマを基に、関連する資料等を素材として、学問としての文献の読み方、討論の進め方の基礎を養い、資料収集や調査・実習・実験の訓練を行ないます。
- * 各講読は、複数科目履修できます。
- * 2種類の講読を必ず履修しなければなりません。

◇ 各専門演習ⅠA・ⅠB(3回生対象)

- * 前年度に開催する演習登録説明会によって決定した各専門演習ⅠA・ⅠBのクラスに自動登録されます。
- * 各演習ⅠA・ⅠBでは、各自の興味や進路に応じて研究テーマを決定し、資料収集や調査・実習・実験等の訓練を行ない、研究論文の書き方の基礎を養います。
- * 原則として、作品の制作やゼミ・レポートを演習毎に冊子としてまとめます。

◇ 各専門演習ⅡA・ⅡB(4回生対象)

- * 各専門演習ⅠA・ⅠBと同一担当者による日本語日本文化専門演習ⅡA・ⅡBに自動登録されます。
- * 各専門演習ⅡA・ⅡBにおける所属演習の変更は認めません。
- * 各専門演習ⅡA・ⅡBでは、卒業研究(4単位)も必ず履修することとし、卒業研究の指導が中心に行なわれます。

◇ 卒業研究(4回生対象)【必修科目】

- * 卒業研究は必ず提出しなければならず、単位を取得しなければ卒業することができません。
- * 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます(ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます)ので、この制度をおおいに活用してください。

V. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間3科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. 事前登録科目

事前登録科目については、受講人数制限(定員)があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けてください。

VIII. 実習について

- ◇ 伝統文化実習A(茶道)・B(能楽)・C(やきもの)および書道のうち、少なくとも2種類の実習を履修すること。
- ◇ 実習・フィールドワーク科目については、実習費、材料費、交通費、入場料、拝観料が必要な場合があります。詳しくは各科目のシラバスを参照してください。
- ◇ 伝統文化実習A(茶道)の登録に際しては、実習費(5,000円)が必要となります。春学期開講は4月末までに、秋学期開講は10月末までに納入しなければなりません。
- ◇ 伝統文化実習C(やきもの)については、3,000円程度の実習費が必要となります。(授業内で納入)

I. 卒業必要単位数

A 群 (学部共通科目)	B 群 (人間文化科目)	C 群 (学科基礎科目)	D 群 (学科専門科目)	任 意	卒業必要 単位数
外国語科目 4 単位、 私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB (各 2 単位) を含む 22 単位以上	28 単位 以上	24 単位 以上	スタートアップゼミ A・B (各 2 単位) および卒業 研究を含む 36 単位以上	14 単位 以上	124 単位 以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群 (学部共通科目) から、外国語科目 4 単位、私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB (各 2 単位) を含む、22 単位以上を取得していること。
(外国語科目のうち、日本語基礎 A・B、日本語応用 A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。)
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位まで、キャリア支援科目については、8 単位までが卒業必要単位として認定されます。
(8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。)
- ◇ B 群 (人間文化科目) から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群 (学科基礎科目) から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群 (学科専門科目) から、スタートアップゼミ A (2 単位)、卒業研究 (4 単位) を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 14 単位以上取得していること。
※ 心理学科、メディア社会学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科、他専攻科目、他学部開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科・他専攻受講の場合の単位認定は、任意区分に 12 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
(この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、歴史民俗・日本語日本文化学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。)

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です (必修科目および登録必要科目を含む)。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

次の回生に該当する学生は、次の科目を指定されたクラスで受講しなければなりません。

回生	科目名	指定内容・備考
4 回生	各専門演習ⅡA・ⅡB 卒業研究【必修】	* 各専門演習ⅠA・ⅠB と同一担当者の各専門演習ⅡA・ⅡB に自動登録されます。卒業研究は必修科目となります。

IV. 演習等

歴史民俗・日本語日本文化学科 日本語日本文化専攻で開講される以下の演習・講読は、本専攻の学生は全員が、各回生で指定された演習・講読のいずれかを履修しなければなりません。不合格の場合は次年度に再履修することはできません。ただし、スタートアップゼミ A・B は、原則、単位修得まで自動登録されます。

3 回生：各専門演習ⅠA・ⅠB

4 回生：各専門演習ⅡA・ⅡB、卒業研究【必修】

* これらの演習・講読は「登録必要科目」です。

- ◇ 各講読 A・B または C・D (2 回生対象)

* 前年度の秋学期に開催される演習登録説明会によって決定した各講読 A および C のクラスに自動登録されます。各講読 B および D は、当該年度の春学期に決定します。

* 各講読では、各指導教員の専攻分野及び周辺分野のテーマを基に、関連する資料等を素材として、学問としての文献の読み方、討論の進め方の基礎を養い、資料収集や調査・実習・実験の訓練を行ないます。

* 各講読は、複数科目履修できます。

* 2 種類の講読を必ず履修しなければなりません。

- ◇ 各専門演習ⅠA・ⅠB (3 回生対象)

* 前年度に開催する演習登録説明会によって決定した各専門演習ⅠA・ⅠB のクラスに自動登録されます。

* 各演習ⅠA・ⅠB では、各自の興味や進路に応じて研究テーマを決定し、資料収集や調査・実習・実験等の訓練を行ない、研究論文の書き方の基礎を養います。

* 原則として、作品の制作やゼミ・レポートを演習毎に冊子としてまとめます。

- ◇ 各専門演習ⅡA・ⅡB (4 回生対象)

* 各専門演習ⅠA・ⅠB と同一担当者による日本語日本文化専門演習ⅡA・ⅡB に自動登録されます。

* 各専門演習ⅡA・ⅡB における所属演習の変更は認めません。

* 各専門演習ⅡA・ⅡB では、卒業研究 (4 単位) も必ず履修することとし、卒業研究の指導が中心に行なわれます。

◇ 卒業研究（4 回生対象）【必修科目】

- * 卒業研究は必ず提出しなければならず、単位を取得しなければ卒業することができません。
- * 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

V. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. 事前登録科目

事前登録科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けてください。

VIII. 実習について

- ◇ 伝統文化実習 A（茶道）・B（能楽）・C（やきもの）および書道のうち、少なくとも 2 種類の実習を履修すること。
- ◇ 実習・フィールドワーク科目については、実習費、材料費、交通費、入場料、拝観料が必要な場合があります。詳しくは各科目のシラバスを参照してください。
- ◇ 伝統文化実習 A（茶道）の登録に際しては、実習費（5,000 円）が必要となります。春学期開講は 4 月末までに、秋学期開講は 10 月末までに納入しなければなりません。
- ◇ 伝統文化実習 C（やきもの）については、3,000 円程度の実習費が必要となります。（授業内で納入）

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	卒業研究を含む 36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目の内、日本語基礎 A・B、日本事情、日本語応用 A・B、日本語作文演習は、留学生科目）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から卒業研究 4 単位を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ 心理学科、メディア社会学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、歴史民俗・日本語日本文化学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。歴史民俗・日本語日本文化学科の他専攻の D 群の科目を受講する場合もこれに準じます。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

卒業研究の単位が未修得の場合、自動的に登録されます。

- ◇ 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

IV. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

V. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VI. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

VII. 実習について

- ◇ 伝統文化実習 A（茶道）・B（能楽）・C（やきもの）および書道のうち、少なくとも 2 種類の実習を履修すること。
- ◇ 実習・フィールドワーク科目については、実習費、材料費、交通費、入場料、拝観料が必要な場合があります。詳しくは各科目のシラバスを参照してください。
- ◇ 伝統文化実習 C（やきもの）については、3,000 円程度の実習費が必要となります。（授業内で納入）
- ◇ 伝統文化実習 A（茶道）の登録に際して、実習費（5,000 円）が必要となります。春学期開講は 4 月末までに、秋学期開講は 10 月末までに納入しなければなりません。

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	卒業研究を含む 36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目の内、日本語基礎 A・B、日本事情、日本語応用 A・B、日本語作文演習は、留学生科目）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から卒業研究 4 単位を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ 心理学科、メディア社会学科、国際ヒューマン・コミュニケーション学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、歴史民俗・日本語日本文化学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。歴史民俗・日本語日本文化学科の他専攻の D 群の科目を受講する場合もこれに準じます。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「28 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

卒業研究の単位が未修得の場合、自動的に登録されます。

- ◇ 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学ナビ』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

IV. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

V. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VI. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

VII. 実習について

- ◇ 伝統文化実習 A（茶道）・B（能楽）・C（やきもの）および書道のうち、少なくとも 2 種類の実習を履修すること。
- ◇ 実習・フィールドワーク科目については、実習費、材料費、交通費、入場料、拝観料が必要な場合があります。詳しくは各科目のシラバスを参照してください。
- ◇ 伝統文化実習 C（やきもの）については、3,000 円程度の実習費が必要となります。（授業内で納入）
- ◇ 伝統文化実習 A（茶道）の登録に際して、実習費（5,000 円）が必要となります。春学期開講は 4 月末までに、秋学期開講は 10 月末までに納入しなければなりません。

歴史民俗・日本語日本文化学科 日本語日本文化専攻 科目一覧表

※ ○付き数字は各科目の単位数

※ 「情報・パソコン」は、同じ科目でも開講学期やクラスによって受講できるセメスターが違いますので注意してください。

セメスター	1～	2～	3～	5～	7～
A群（学部共通科目）	教養科目 社会学入門 A② 社会学入門 B② 論理学入門④ 人権の歴史と現代 A② 人権の歴史と現代 B② 経営学入門 A② 経営学入門 B② 日本語表現法② 科学の歴史 A② 科学の歴史 B② 宇宙と地球の科学 A② 宇宙と地球の科学 B② 生命の科学 A② 生命の科学 B② 物質の科学 A② 物質の科学 B② 自然環境 A② 自然環境 B② 英語文化事情 A② 英語文化事情 B② 医療倫理学② 環境倫理学② 自然保護思想② 日本の農業② 食の安全安心② 京野菜栽培加工実習②		国際関係論 A② 国際関係論 B② 土壌の科学② 昆虫の科学② 微生物の世界② 白書で学ぶ現代日本②		
	京都学研究プログラム科目 京都学Ⅰ② 京都学Ⅱ② きもの学② きもの学（発展）② フィールドワーク京都（歴史と文化）A② フィールドワーク京都（歴史と文化）B② フィールドワーク京都（まちなかコミュニティ研究）② フィールドワーク京都（現代企業研究）② 京都の文学② 京都の歴史② 日本の文学 A② 日本の文学 B② 京都の観光産業Ⅰ② 京都の観光産業Ⅱ② 京都検定講座Ⅰ② 京都検定講座Ⅱ②		日本経営史Ⅰ② 日本経営史Ⅱ② 京都商人論Ⅰ② 京都商人論Ⅱ② 企業家史② 梅岩「心学」研究② ベンチャー・ビジネス論② 京都のベンチャー企業論②		
	情報・パソコン パソコン入門① パソコン応用 A① パソコン応用 B①	パソコン応用 C① プログラミング BⅠ④ プログラミング C④ コンピュータ・ネットワーク入門②	プログラミング BⅡ④ マルチメディア表現 s② マルチメディア表現 f②		
	生涯スポーツ スポーツ社会学概論② 運動学概論② 健康スポーツ理論 A② 健康スポーツ理論 B② スポーツ国際交流論 A② スポーツ国際交流論 B② やさしい健康科学②【新設】 運動生理学②【新設】 生涯スポーツ実技①	生涯スポーツは合計 8 単位まで要卒単位として認められます			

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
A 群 (学部共通科目)	キャリア支援科目	2013年度以降入学生用 キャリアデザインⅠ② 【必修】	キャリアデザインⅡ②	ビジネス実務論② 現代基礎教養② コミュニケーション・スキル② キャリアバースキットトレーニング②		
	2012年度入学生用	私の人生設計ⅠA②	私の人生設計ⅠB②	私の人生設計ⅡA② 私の人生設計ⅡB②		
		2011・2012年度入学の学生のみ必修				
				キャリアバースキットトレーニング② キャリアデザイン② ビジネス実務論② 現代基礎教養② コミュニケーション・スキル②		
外国語科目		総合英語A② 総合英語B② 基礎英語A② 基礎英語B② 英語リーディング② 英語ライティング② 英語スピーキング② 英語リスニング② 英語資格試験ワーク② 英語資格試験パソナワーク② 入門ドイツ語総合s② 入門ドイツ語総合f② 入門ドイツ語会話s② 入門ドイツ語会話f② 入門フランス語s② 入門フランス語f② 入門スペイン語s② 入門スペイン語f② 入門中国語s② 入門中国語f② 入門ハングルs② 入門ハングルf②	英語リーディングⅡ② 英語ライティングⅡ② 英語スピーキングⅡ② 英語資格試験ワークⅡ② 海外研修④ 海外事情A② 海外事情B② 海外事情C② 海外事情D④ 海外留学④	英語講読Ⅰ② 英語講読Ⅱ② ドイツ語s② ドイツ語f② フランス語s② フランス語f② スペイン語s② スペイン語f② 中国語s② 中国語f② ハングルs② ハングルf②	ドイツ語講読s② ドイツ語講読f② フランス語講読s② フランス語講読f②	
	2013年度入学生		英語元々ドリーディング② 英語プラクティカルライティング② 英語パソナルコミュニケーション② TOEIC 研究② 英語クリエイティブライティング②	英語中級リーディング② 英語中級ライティング② 英語中級スピーキング② TOEFL 研究② 英語インテグレートリーディング② 英語スピーチ&ディベート②		
留学生科目		(留)日本語基礎A② (留)日本語基礎B② (留)日本事情② (留)日本語応用A② (留)日本語応用B② (留)日本語作文演習②				

(留)…留学生科目

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
B 群 (人間文化科目)	I 類	人文地理学④ 経済学概論④ 西洋史概説④ 哲学概論 A② 哲学概論 B② 日本史概説 A② 日本史概説 B② 東洋史概説 A② 東洋史概説 B② 生物学概論 A② 生物学概論 B② 文化人類学 A② 文化人類学 B② 自然地理学 A② 自然地理学 B② 地誌 A② 地誌 B② 言語表現論 A② 言語表現論 B② 法学概論 A (日本国憲法を含む) ② 法学概論 B② 社会学概論④		倫理学概論④ 心理学概論④ 政治学原論 A② 政治学原論 B②		
	II 類	心理学入門Ⅰ② 心理学入門Ⅱ② メディア学入門Ⅰ② メディア学入門Ⅱ② 古文入門② 漢文入門② 統計分析の基礎④ 日本語学概論 A② 日本語学概論 B② 中国文学概論 A② 中国文学概論 B② かな文字基礎講読 A② かな文字基礎講読 B② ジェンダー論Ⅰ② ジェンダー論Ⅱ② 宗教学Ⅰ② 宗教学Ⅱ② マスコミ論 A② マスコミ論 B② 比較社会論 A② 比較社会論 B② 現代経済の読み方② 出版文化論② デジタル出版論② ファッション文化論② マンガ文化論② デジタル映像編集実習Ⅰ① デジタル映像編集実習Ⅱ① インターンシップ A② インターンシップ B② エコロジー入門② 現代アートへの招待② アートギャラリー実習Ⅰ① アートギャラリー実習Ⅱ① 雑誌編集実習① 英語特別講義 A② 英語特別講義 B② 異文化コミュニケーション② メディア・リテラシー②		言語学Ⅰ② 言語学Ⅱ② 音声学Ⅰ② 音声学Ⅱ② 生涯学習概論Ⅰ② 生涯学習概論Ⅱ② 教育学 A② 教育学 B② 話しことば表現講座② 社会調査法④ 質的社会調査法② デジタル出版編集実習① 日本文学概論 A② 日本文学概論 B②	社会調査実習Ⅰ① 社会調査実習Ⅱ① キャリア研究 s② キャリア研究 f②	

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
歴史民俗・日本語日本文化学科	C 群 (学科基礎科目)			文化遺産論 A② 文化遺産論 B② □承文芸論 A② □承文芸論 B② 地域文化論 A② 地域文化論 B② 日本美術史 A② 日本美術史 B② 日本文化論 I ② 日本文化論 II ② 日本語史 A② 日本語史 B② コミュニケーション社会学 A② コミュニケーション社会学 B② 文化社会学 A② 文化社会学 B②		
	D 群 (学科専門科目)			アニメ文化論② アニメ制作実習① 情報サービス実習Ⅱ①		
	両専攻共通					
	日本語日本文化専攻			日本語学特殊講義 A② 日本語学特殊講義 B② 日本語学特殊講義 C② 日本語学特殊講義 D② 日本文学特殊講義 A② 日本文学特殊講義 B② 日本文学特殊講義 C② 日本文学特殊講義 D② 日本文学特殊講義 E② 日本文学特殊講義 F② 日本文学特殊講義 G② 中国文学特殊講義 A② 中国文学特殊講義 B② 書道(書写を含む)A② 書道(書写を含む)B② 伝統文化論 C② 伝統文化実習 C (やきもの) ①		
	講読			日本語学講読 A② 日本語学講読 B② 日本文学講読 A② 日本文学講読 B② 日本文学講読 C② 日本文学講読 D② 伝統文化講読 A② 伝統文化講読 B② 漢文学講読 A② 漢文学講読 B②		

セメスター				1～	2～	3～	5～	7～
歴史民俗・日本語日本文化学科	D群(学科専門科目)	日本語日本文化専攻	演習等	スタートアップゼミA② 【2011年度以降の入学生は必修】	スタートアップゼミB② 【2011・2012年度入学の学生のみ必修】		日本語学専門演習ⅠA② 日本語学専門演習ⅠB② 日本文学専門演習ⅠA② 日本文学専門演習ⅠB② 伝統文化専門演習ⅠA② 伝統文化専門演習ⅠB②	日本語学専門演習ⅡA② 日本語学専門演習ⅡB② 日本文学専門演習ⅡA② 日本文学専門演習ⅡB② 伝統文化専門演習ⅡA② 伝統文化専門演習ⅡB② 卒業研究④【必修】
			2014年度生以降		英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語文化研究A②		
			英語プロジェクト科目 2012年度生以降		英語ゼミⅠ② 英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語ゼミⅡ② 英語ゼミⅢ② 英語文化研究A②	英語ゼミⅣ② 英語ゼミⅤ②	英語ゼミⅥ② 英語プロジェクト修了研究②
			2011年度生以前		英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語ゼミⅠ② 英語ゼミⅡ② 英語文化研究A②	英語ゼミⅢ② 英語ゼミⅣ②	英語ゼミⅤ② 英語プロジェクト修了研究②

国際ヒューマン・コミュニケーション学科 履修上の注意

2011G~2014G

I. 卒業必要単位数

A群 (学部共通科目)	B群 (人間文化科目)	C群 (学科基礎科目)	D群 (学科専門科目)	任 意	卒業必要 単位数
外国語科目4単位、 私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB (各2単位)を含む22単位以上	28単位 以上	24単位 以上	スタートアップゼミA・B (各2単位)および卒業研 究を含む36単位以上	14単位 以上	124単位 以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ 学部共通科目から、外国語科目4単位、私の人生設計ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB(各2単位)を含む、22単位以上を取得していること。
(外国語科目のうち、日本語基礎A・B、日本語応用A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。)
- ◇ 生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて8単位までが卒業必要単位として認定されます。
(8単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。)
- ◇ キャリア支援科目については、8単位までが卒業必要単位として認定されます。
(8単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。)
- ◇ 人間文化科目から28単位以上を取得していること。
- ◇ 学科基礎科目から24単位以上を取得していること。
- ◇ 学科専門科目から、スタートアップゼミA・B(各2単位)、卒業研究(4単位)を含む36単位以上を取得していること。
- ◇ A群、B群、C群、D群等から、任意に14単位以上取得していること。

※ 心理学科、メディア社会学科、歴史民俗・日本語日文化学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に12単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。

(この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科のC群およびD群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科のC群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、国際ヒューマン・コミュニケーション学科のC群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。)

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24単位」です(必修科目および登録必要科目を含む)。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

次の回生に該当する学生は、次の科目を指定されたクラスで受講しなければなりません。

学年	学期	科目名	指定内容・備考
2回生	春	各基礎演習A or 社会学調査演習s 私の人生設計ⅡA【必修】	* 春に社会学調査演習sを履修し、不合格となった学生は、秋に社会学調査演習fを履修できません。
		各基礎演習B or 社会学調査演習f 私の人生設計ⅡB【必修】	
	秋	各基礎演習B or 社会学調査演習f 私の人生設計ⅡB【必修】	* 秋入学の学生は、原則「ディベート演習」は3セメスターで履修します。
		私の人生設計ⅡB【必修】	
3回生	春	各専門演習ⅠA キャリアゼミA	* 秋入学の学生は、私の人生設計ⅠAは、2セメスターから順にします。
		各専門演習ⅠB キャリアゼミB	
	秋	各専門演習ⅠB キャリアゼミB	
		キャリアゼミB	
4回生	春	各専門演習ⅡA	* 前年度秋学期に選択したゼミに自動的に履修登録されます。
	秋	各専門演習ⅡB	
		卒業研究【必修】	

IV. 演習等

国際ヒューマン・コミュニケーション学科で開講される以下の演習は、本学科の学生は全員が、各回生で指定した演習のいずれかを履修しなければなりません。不合格の場合は次年度に再履修することはできません。ただし、スタートアップゼミA・Bは、原則、単位修得まで自動登録されます。

- 1回生：スタートアップゼミA・B【必修】
- 2回生：各基礎演習A・B、社会学調査演習s・f
- 3回生：各専門演習ⅠA・ⅠB
- 4回生：各専門演習ⅡA・ⅡB・卒業研究【必修】

これらの演習は「登録必要科目」です。

- ◇ スタートアップゼミA・B(1回生対象)【必修科目】、ディベート演習(1回生対象)
* 所属クラスは、入学時に指定されます。

- * スタートアップゼミA・Bでは、テーマが設定され、文献の読み方、情報検索の方法、レポートの書き方、ゼミ発表や討論の方法等、大学に必要な知的技術の基礎の修得が目標とされます。
- ◇ 各基礎演習A・B、社会学調査演習s・f（2回生対象）
 - * 前年度の秋学期に開催される演習登録説明会によって決定した各基礎演習A・Bまたは社会学調査演習s・fのクラスに自動登録されます。両方の演習を履修することも可能です。
 - * 各演習A・B(s・f)は、各指導教員の専門分野を中心に、学問的研究の基礎能力を養成します。
 - * 各演習A(s)を登録すると、同B(f)が自動登録されます。
- ◇ 各専門演習ⅠA・ⅠB（3回生対象）
 - * 前年度に開催する登録説明会によって決定した各専門演習ⅠA・ⅠBのクラスに自動登録されます。
 - * 各専門演習ⅠA・ⅠBは、各指導教員の専門分野を中心に、卒業研究に必要な学問的研究の能力を養成します。
- ◇ 各専門演習ⅡA・ⅡB（4回生対象）
 - * 各専門演習ⅠA・ⅠBと同一担当者による各専門演習ⅡA・ⅡBに自動登録されます。
 - * 各専門演習ⅠA・ⅠBは、各指導教員の専門分野を中心に、卒業研究の指導を行います。
 - * 各専門演習ⅡA・ⅡBにおける所属の変更は認めません。
 - * 各専門演習ⅡA・ⅡBでは、卒業研究（4単位）も必ず履修することとし、卒業研究の指導が中心に行なわれます。
- ◇ 卒業研究（4回生対象）【必修科目】
 - * 卒業研究は必ず提出しなければならず、単位を取得しなければ卒業することができません。
 - * 卒業研究は、個人執筆の論文を基本としますが、共同研究や映像作品等の創作物にすることも可能です。

※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学なび』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

V. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

VI. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間3科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、春学期オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VII. 事前登録科目

事前登録科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けてください。

VIII. 実習について

- ◇ 実習・フィールドワーク科目については、実習費、材料費、交通費、入場料、拝観料が必要な場合があります。詳しくは各科目のシラバスを参照してください。
- ◇ 伝統文化実習C（やきもの）については、3,000 円程度の実習費が必要となります。（授業内で納入）
- ◇ 伝統文化実習A（茶道）の登録に際して、実習費（5,000 円）が必要となります。春学期開講は4月末までに、秋学期開講は10月末までに納入しなければなりません。

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	卒業研究を含む 36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目のうち、日本語基礎 A・B、日本語応用 A・B、日本事情、日本語作文演習は、留学生用科目です。）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から卒業研究 4 単位を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ 心理学科、メディア社会学科、歴史民俗・日本語日本文化学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、国際ヒューマン・コミュニケーション学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「24 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。

これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

卒業研究の単位が未修得の場合、自動的に登録されます。

※ 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学ナビ』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

IV. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

V. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VI. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

VII. 実習について

- ※ 実習・フィールドワーク科目については、実習費、材料費、交通費、入場料、拝観料が必要な場合があります。詳しくは各科目のシラバスを参照してください。
- ※ 伝統文化実習 C（やきもの）については、3,000 円程度の実習費が必要となります。（授業内で納入）
- ※ 伝統文化実習 A（茶道）の登録に際して、実習費（5,000 円）が必要となります。春学期開講は 4 月末までに、秋学期開講は 10 月末までに納入しなければなりません。

I. 卒業必要単位数

A 群(学部共通科目)	B 群(人間文化科目)	C 群(学科基礎科目)	D 群(学科専門科目)	任 意	卒業必要単位数
外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上	28 単位以上	24 単位以上	卒業研究を含む 36 単位以上	18 単位以上	124 単位以上

ただし、次の条件を満たしていること。

- ◇ A 群（学部共通科目）から外国語科目 4 単位を含む 18 単位以上を取得していること。
（外国語科目の内、日本語基礎 A・B、日本事情、日本語応用 A・B、日本語作文演習は、留学生科目）
生涯スポーツ科目については理論および実技あわせて 8 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（8 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
キャリア支援科目については 6 単位までが卒業必要単位として認定されます。
（6 単位を超えて履修することはできますが、卒業必要単位としては認定されません。）
- ◇ B 群（人間文化科目）から 28 単位以上を取得していること。
- ◇ C 群（学科基礎科目）から 24 単位以上を取得していること。
- ◇ D 群（学科専門科目）から卒業研究 4 単位を含む 36 単位以上を取得していること。
- ◇ A 群、B 群、C 群、D 群等から、任意に 18 単位以上取得していること。
※ 心理学科、メディア社会学科、歴史民俗・日本語日本文化学科や他学部の開講科目の取得単位もこの卒業必要単位数に含めることができます。ただし、他学部・他学科受講の場合の単位認定は、任意区分に 16 単位を上限に卒業必要単位に含めることができます。
（この場合の他学科受講とは、人間文化学部他学科の C 群および D 群の科目を受講する場合を指します。例えば、心理学科の C 群にあたる科目を受講し単位を取得した場合、国際ヒューマン・コミュニケーション学科の C 群の履修単位としての認定ではなく、任意区分に認定されるということです。）

II. 各セメスターにおける履修登録単位数制限

各セメスターの履修登録単位数制限は、「28 単位」です（必修科目および登録必要科目を含む）。
これを超えて履修登録することはできません。ただし、この制限単位には各種課程の独自開講科目の単位は含みません。

III. 登録必要科目

卒業研究の単位が未修得の場合、自動的に登録されます。

- * 卒業研究は、個人執筆による論文だけでなく、共同研究や創作物などとすることも可能です。

- ※ オフィス・アワーは、学生の皆さんが本学専任教員の研究室を訪問して、親しく話したり、質問したり、研究指導を受けたりすることのできる時間です。各先生の曜日・時間は掲示されます（ポータルシステム『京学ナビ』の「教員時間割表」でも確認できます）ので、この制度をおおいに活用してください。

IV. 留学生科目について

留学生科目の詳細については、履修要項の「留学生対象の日本語プログラム」を参照してください。

V. 大学コンソーシアム京都単位互換科目

京都の大学が相互に科目を提供しています。提供大学の基準に従って受講し、評価されたものを単位認定します。本学の成績には、合格の場合は「認」として記録されます。履修登録制限単位数には含まれません。出願できる科目数は、年間 3 科目以内です。

詳細については、後述の「各種教育プログラム 大学コンソーシアム京都 単位互換履修について」を参照し、オリエンテーション期間に開催される説明会に出席して登録してください。

VI. 事前登録科目

一部の科目については、受講人数制限（定員）があります。これらの科目の受講を希望する場合は、必ず事前登録の手続きを行って、受講許可を受けなければなりません。

VII. 実習について

- * 実習・フィールドワーク科目については、実習費、材料費、交通費、入場料、拝観料が必要な場合があります。
- * 詳しくは各科目のシラバスを参照してください。
- * 伝統文化実習 C（やきもの）については、3,000 円程度の実習費が必要となります。（授業内で納入）
- * 伝統文化実習 A（茶道）の登録に際して、実習費（5,000 円）が必要となります。春学期開講は 4 月末までに、秋学期開講は 10 月末までに納入しなければなりません。

国際ヒューマン・コミュニケーション学科 科目一覧表

※ ○付き数字は各科目の単位数

※ 「情報・パソコン」は、同じ科目でも開講学期やクラスによって受講できるセメスターが違いますので注意してください。

セメスター	1～	2～	3～	5～	7～
A群（学部共通科目）	教養科目 社会学入門A② 社会学入門B② 論理学入門④ 人権の歴史と現代A② 人権の歴史と現代B② 経営学入門A② 経営学入門B② 日本語表現法② 科学の歴史A② 科学の歴史B② 宇宙と地球の科学A② 宇宙と地球の科学B② 生命の科学A② 生命の科学B② 物質の科学A② 物質の科学B② 自然環境A② 自然環境B② 英語文化事情A② 英語文化事情B② 医療倫理学② 環境倫理学② 自然保護思想② 日本の農業② 食の安全安心② 京野菜栽培加工実習②		国際関係論A② 国際関係論B② 土壌の科学② 昆虫の科学② 微生物の世界② 白書で学ぶ現代日本②		
	京都学研究プログラム科目 京都学Ⅰ② 京都学Ⅱ② さもの学② さもの学（発展）② フィールドワーク京都（歴史と文化）A② フィールドワーク京都（歴史と文化）B② フィールドワーク京都（まちなかコミュニティ研究）② フィールドワーク京都（現代企業研究）② 京都の文学② 京都の歴史② 日本の文学A② 日本の文学B② 京都の観光産業Ⅰ② 京都の観光産業Ⅱ② 京都検定講座Ⅰ② 京都検定講座Ⅱ②		日本経営史Ⅰ② 日本経営史Ⅱ② 京都商人論Ⅰ② 京都商人論Ⅱ② 企業家史② 梅岩「心学」研究② ベンチャー・ビジネス論② 京都のベンチャー企業論②		
	情報・パソコン パソコン入門① パソコン応用A① パソコン応用B①	パソコン応用C① プログラミングBⅠ④ プログラミングC④ コンピュータ・ネットワーク入門②	プログラミングBⅡ④ マルチメディア表現s② マルチメディア表現f②		
	生涯スポーツ スポーツ社会学概論② 運動学概論② 健康スポーツ理論A② 健康スポーツ理論B② スポーツ国際交流論A② スポーツ国際交流論B② やさしい健康科学②【新設】 運動生理学②【新設】 生涯スポーツ実技①	生涯スポーツは合計8単位まで要卒単位として認められます			

セクター		1～	2～	3～	5～	7～
A 群 (学部共通科目)	キャリア支援科目	私の人生設計ⅠA② 私の人生設計ⅠB② ↑ 2011 年度以降入学の学生のみ必修		私の人生設計ⅡA② 私の人生設計ⅡB② ↑ キャリア・シットルニング② キャリアデザイン② ビジネス実務論② 現代基礎教養② コミュニケーションスキル②		
		キャリア支援科目は 2011 年度以降の入学生は合計 8 単位まで、 2010 年度以前の入学生は合計 6 単位まで要卒単位として認められます。				
	外国語科目	総合英語A② 総合英語B② 基礎英語A② 基礎英語B② 英語リーディング② 英語ライティング② 英語スピーキング② 英語リスニング② 英語資格試験ワーク② 英語資格試験パート② 入門ドイツ語総合 s② 入門ドイツ語総合 f② 入門ドイツ語会話 s② 入門ドイツ語会話 f② 入門フランス語 s② 入門フランス語 f② 入門スペイン語 s② 入門スペイン語 f② 入門中国語 s② 入門中国語 f② 入門ハングル s② 入門ハングル f②	英語リーディングⅡ② 英語ライティングⅡ② 英語スピーキングⅡ② 英語資格試験ワークⅡ② 海外研修④ 海外事情A② 海外事情B② 海外事情C② 海外事情D④ 海外留学④	英語講読Ⅰ② 英語講読Ⅱ② ドイツ語 s② ドイツ語 f② フランス語 s② フランス語 f② スペイン語 s② スペイン語 f② 中国語 s② 中国語 f② ハングル s② ハングル f②	ドイツ語講読 s② ドイツ語講読 f② フランス語講読 s② フランス語講読 f②	
			英語ラッドリーディング② 英語プロテクティブライティング② 英語パーソナルコミュニケーション② TOEIC 研究② 英語クリエイティブライティング②	英語中級リーディング② 英語中級ライティング② 英語中級スピーキング② TOEFL 研究② 英語インテグレーションリーディング② 英語リサーチ&レポート②		
	留学生科目	(留)日本語基礎A② (留)日本語基礎B② (留)日本事情② (留)日本語応用A② (留)日本語応用B② (留)日本語作文演習②				

(留)…留学生科目

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
B 群 (人間文化科目)	I 類	人文地理学④ 経済学概論④ 西洋史概説④ 哲学概論 A② 哲学概論 B② 日本史概説 A② 日本史概説 B② 東洋史概説 A② 東洋史概説 B② 生物学概論 A② 生物学概論 B② 文化人類学 A② 文化人類学 B② 自然地理学 A② 自然地理学 B② 地誌 A② 地誌 B② 言語表現論 A② 言語表現論 B② 法学概論 A (日本国憲法を含む) ② 法学概論 B② 社会学概論④		倫理学概論④ 心理学概論④ 政治学原論 A② 政治学原論 B②		
	II 類	心理学入門Ⅰ② 心理学入門Ⅱ② メディア学入門Ⅰ② メディア学入門Ⅱ② 古文入門② 漢文入門② 統計分析の基礎④ 日本語学概論 A② 日本語学概論 B② 中国文学概論 A② 中国文学概論 B② かな文字基礎講読 A② かな文字基礎講読 B② ジェンダー論Ⅰ② ジェンダー論Ⅱ② 宗教学Ⅰ② 宗教学Ⅱ② マスコミ論 A② マスコミ論 B② 比較社会論 A② 比較社会論 B② 現代経済の読み方② 出版文化論② デジタル出版論② ファッション文化論② マンガ文化論② デジタル映像編集実習Ⅰ① デジタル映像編集実習Ⅱ① インターンシップ A② インターンシップ B② エコロジー入門② 現代アートへの招待② アートギャラリー実習Ⅰ① アートギャラリー実習Ⅱ① 雑誌編集実習① 英語特別講義 A② 英語特別講義 B② 異文化コミュニケーション②		言語学Ⅰ② 言語学Ⅱ② 音声学Ⅰ② 音声学Ⅱ② 生涯学習概論Ⅰ② 生涯学習概論Ⅱ② 教育学 A② 教育学 B② 話しことば表現講座② 社会調査法④ 質的社会調査法② デジタル出版編集実習① 日本文学概論 A② 日本文学概論 B② メディア・リテラシー②	社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ キャリア研究 s キャリア研究 f	

セメスター		1～	2～	3～	5～	7～
国際ヒューマン・コミュニケーション学科	C 群 (学科基礎科目)	はじめての国際文化② 西洋の礼儀とマナー② 安全と安心の心理学② 現代イギリス・アイルランド事情② 現代オーストラリア事情② ヨーロッパ文化② 日本の文化と観光地を英語で② マンガ・イングリッシュ② アニメ・イングリッシュ② 広告広報論Ⅰ② 広告広報論Ⅱ② メディア表現実習② 伝統文化論A② 伝統文化論B② 伝統文化実習A(茶道)① 伝統文化実習B(能楽)① 日本文化史A② 日本文化史B②	現代アメリカ事情② 現代ドイツ事情②	エコの知恵② 生活と文化の世界史② 現代フランス事情② 現代中国事情② 美意識の比較文化② 入門 NPO 論② 現代社会論② ミュニケーション社会学A② ミュニケーション社会学B② 文化遺産論A② 文化遺産論B② 日本美術史A② 日本美術史B②		
	D 群 (学科専門科目)	ベーシック・マナー講座② 西洋のゲームとスポーツ② おいしいフランス語② 京都観光を英語で② 表現力講座② 現代雑誌論A② 現代雑誌論B② 情報サービス実習Ⅰ① マスコミ文章講座①		国際社会と環境② 国際社会と資源② 経済開発と環境② 食品安全学② 保全生態学② グローバル・サステナビリティ② 環境社会学A② 環境社会学B② 国際法Ⅰ② 国際法Ⅱ② 京都の音② 伝統文化論C② 伝統文化実習C(やきもの)① 美容とブランド② 女性経営者論② 子どもの社会学② 家族社会学② 英語フィールドワーク京都② 海外ニュースと時事問題② 海外 TV ドラマ論② 情報ネットワーク論② 実践キャリア英語② 情報サービス実習Ⅱ① エアライン講座Ⅰ②	エアライン講座Ⅱ② 音楽とコミュニケーション② エコ検定講座② 実践ビジネス英会話② 国際法Ⅲ② 里山学②	
	演習等	スタートアップゼミA②	スタートアップゼミB② ディベート演習②	ヒューマン・コミュニケーション基礎演習A② ヒューマン・コミュニケーション基礎演習B② 英語コミュニケーション基礎演習A② 英語コミュニケーション基礎演習B② 社会学調査演習 s② 社会学調査演習 f②	ヒューマン・コミュニケーション専門演習ⅠA② ヒューマン・コミュニケーション専門演習ⅠB② 英語コミュニケーション専門演習ⅠA② 英語コミュニケーション専門演習ⅠB② ネイティブ英語専門演習ⅠA② ネイティブ英語専門演習ⅠB② キャリアゼミA② キャリアゼミB②	ヒューマン・コミュニケーション専門演習ⅡA② ヒューマン・コミュニケーション専門演習ⅡB② 英語コミュニケーション専門演習ⅡA② 英語コミュニケーション専門演習ⅡB② ネイティブ英語専門演習ⅡA② ネイティブ英語専門演習ⅡB② 卒業研究④

英語プロジェクト	2012年度生以降		英語ゼミⅠ② 英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語ゼミⅡ② 英語ゼミⅢ② 英語文化研究A②	英語ゼミⅣ② 英語ゼミⅤ②	英語ゼミⅥ② 英語プロジェクト修了研究②
	2011年度生以前		英語文化研究B② 英語文化研究C②	英語ゼミⅠ② 英語ゼミⅡ② 英語文化研究A②	英語ゼミⅢ② 英語ゼミⅣ②	英語ゼミⅤ② 英語プロジェクト修了研究②